

地デジ・BS・CS対応

バステレビ

(16V型 HDMI接続対応)

GK9HX1630

バスルーム

取扱説明書



※画面ははめ込み合成です。

このたびは、“バステレビ”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(4ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

■この取扱説明書は当社商品に関するものです。他社商品との組み合わせで採用された場合は、他社商品に付属の取扱説明書をご覧ください。

■保証書は、「お引き渡し日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

■転居される場合は、製品を安全にお使いいただくために、新しく入居される方、または取り次ぎされる方にこの取扱説明書をお渡しください。

保証書付き

安全上のご注意 4

はじめて使うとき 9

ふだんの使いかた 12

外部機器を使う 26

困ったとき 40

バステレビのたのしみかた



はじめて使うとき

リモコンに電池を入れる

9ページ

地上デジタル放送の受信設定をする

10ページ

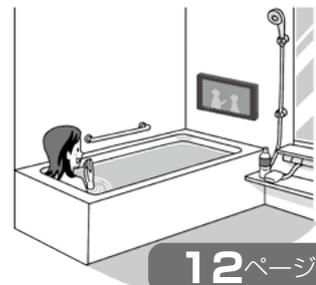
テレビを見る (2回目以降)

● **1** ~ **12** でチャンネルを選ぶ



で順送りもできます。

● **番組表** で番組表から選ぶ



12ページ

明るさを調整する



5段階に調整できます。
画面に明るさの
段階が表示されます。

音量を調整する



お好みの音量に
調整してください。

DVD やブルーレイディスクを見る

バステレビのリモコンで外部機器を操作することができます。

1 外部機器を接続する

26ページ

2 **入力切替** で入力を切り替える

押すたびに次のようになります。

地デジ (BS・CS) → HDMI1 → HDMI2 → 地デジ (BS・CS) …

3 外部機器を操作する

※本機では、ワンセグ放送は受信できません。

※BSデジタル放送、CSデジタル放送の受信には、対応した衛星アンテナ、加入契約などが別途必要です。

※CATV (ケーブルテレビ) の受信には、専用の受信機が必要になる場合があります。

詳しくは、各CATV運営会社にお問い合わせください。

※5.1chサラウンドには対応していません。

もくじ

お使いになる前に 2

- バステレビのたのしみかた…………… 2
- 安全上のご注意…………… 4
- 使用上のお願い…………… 5
- 各部のなまえとはたらき…………… 6
- 付属品を確認する…………… 8
- B-CAS (ビーキャス) カードについて …… 8

はじめて使うとき 9

- リモコンの準備…………… 9
- 地上デジタル放送の受信設定…………… 10

ふだんの使いかた 12

- 番組を探す・見る…………… 12

さらに使いこなす 14

- メニュー一覧…………… 14
- 字幕・文字スーパーを表示する…………… 16
- タイマーを使う…………… 17
- 画面サイズを切り替える…………… 18
- 画質・画面・音質を調整する…………… 19
- チャンネル番号を入力して番組を見る…………… 22
- チャンネルを追加／スキップの設定をする…………… 23
- 通信設定…………… 24

外部機器を使う 26

HDMI接続の場合

- 外部機器を接続する (オプション) …… 26
- 外部機器を見る…………… 26
- 外部機器の設定…………… 27

AVコンセントがある場合

- 外部機器を接続する…………… 28
- リモコンコードを登録する…………… 29
- 外部機器を見る…………… 30
- 外部入力の設定をする…………… 31
- シーリングバスオーディオで聴く (オプション) …… 32

必要なとき 33

- 省エネ設定をする…………… 33
- アンテナ設定をする…………… 34
- お知らせを見る…………… 35
- ソフトウェアを自動ダウンロードする…………… 36
- B-CASカードの動作と番号を確認する …… 37
- 暗証番号を設定 (視聴制限) する…………… 38

困ったとき 40

- 設定をリセットする…………… 40
- 故障かな?…………… 41
- よくあるお問い合わせ (Q&A) …… 45
- メッセージ表示一覧…………… 46
- お手入れのしかた…………… 47
- さくいん…………… 48
- 仕様…………… 49
- 著作権など…………… 50
- 保証書…………… 59
- 保証とアフターサービス…………… 裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



禁止



分解禁止

してはいけない内容です。



必ず守る

実行しなければならない内容です。

警告



- テレビ本体・電源チューナーボックスの分解・改造・位置変更は行わない
内部回路には高圧回路ブロックがあり、火災・感電・水もれの原因となります。



- テレビ本体に体重をかけない
けが・破損・故障の原因となります。
- 液晶パネルが破損して内部の液体がもれた場合、その液体を口にしない
人体に害を与える原因となります。手などに付着した場合は石けんなどでよく洗い落としてください。



- テレビ本体が破損した場合、すぐに使用を中止する
防水機能が破壊されますので、使用を中止しないと火災・感電・故障の原因となります。
- テレビ本体から煙や異臭が発生した場合、漏電ブレーカを切り、すぐに使用を中止する
使用を中止しないと、火災・故障の原因となります。

注意



- ケースが割れた、画面が映らないなど壊れたままで使用しない
感電や火災、事故のおそれがあります。



- 電池に表示してある注意内容を必ず守る
- 電池は＋極を確かめ、正しく入れる
- 使いきった電池は、すぐに取り出す
- 長時間使用しないときは、電池を取り出す
- 使用推奨期限内の電池を使用する
電池の発熱、破裂、液漏れによるけがや周囲汚損の原因となります。
- テレビから外部入力に切り替える際は、音量を小さくする
切り替えたときに突然大きな音が鳴り、聴力を害する原因となります。
- シーリングバスオーディオに接続する際は、音量を小さくする
電源を入れたときに突然大きな音が鳴り、聴力を害する原因となります。

使用上のお願い

故障や破損の原因となります

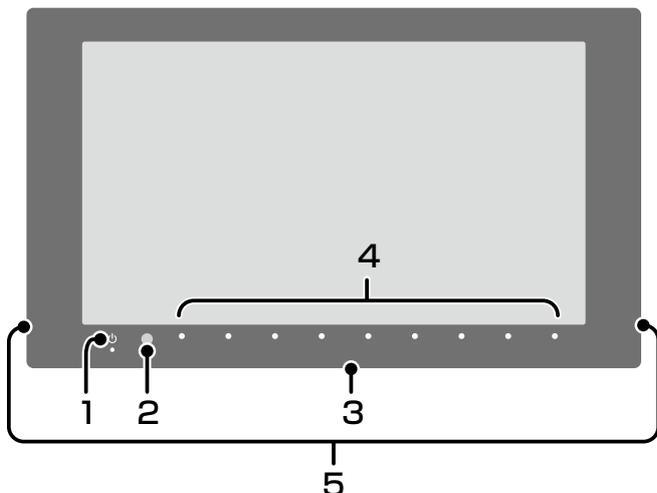
- **故意に水や洗剤をかけないでください**
 スピーカー部に水がたまり音が小さくなったり、画面に水あかがついたりします。水がかかった場合は早めにふき取ってください。
- **ボタンは軽く指で操作してください**
 先のとがったもので操作したり、衝撃をあたえると故障の原因となります。
- **シャンプーなどがついたら、軽く絞った布でふき、その後、乾いたやわらかい布で水滴をふき取ってください**
 そのまま放置すると変色、故障の原因となります。
- **使用温度範囲内で使用してください**
 使用温度0～50℃をこえた範囲での使用は、故障の原因となります。
- **画面を強く押さないでください**
 画面にムラが出たり、液晶パネル故障の原因となります。
- **スピーカー部に物を差し込まないでください**
 防水機能がこわれ、故障の原因となります。
- **リモコンはテレビ本体の受光部に向けて操作してください**
 リモコンの信号がテレビに届かず、操作できないことがあります。
- **リモコンは浴槽に浮かべたり沈めたりしないでください**
 故障の原因となります。
- **リモコンの電池交換は水滴をよくふき取ってから行ない、電池ふたは確実にしめてください**
 水が中に入ると故障の原因となります。
- **リモコンは落とさないでください**
 故障の原因となります。
- **リモコンホルダーは日の当たらない所に取り付けてください**
 変色などの原因となります。
- **リモコンを使用しない時は、リモコンホルダーに収納してください**
 他の場所に置いて、落としたり、水中に沈めたりすると、故障の原因となります。

次の点にご留意ください

- **デジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。**
 万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- **本機は ARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっております。** 将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- **この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、「メニュー」ボタンを押し、「その他の操作」→「ソフトウェアバージョン」をご参照ください。（36ページ参照）**
- **バステレビに使用している液晶パネルは、非常に高度な技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。**
- **バステレビの視野角(画面を見ることができる角度)は上下160°（上下各方向80°）、左右160°（左右各方向80°）です。**
- **天災、システム障害、その他の事由によりテレビ番組ガイド（EPG）が使用できない場合があります。**
 当社はテレビ番組ガイド（EPG）の使用に関わるいかなる障害、損失に対しても責任を負いません。

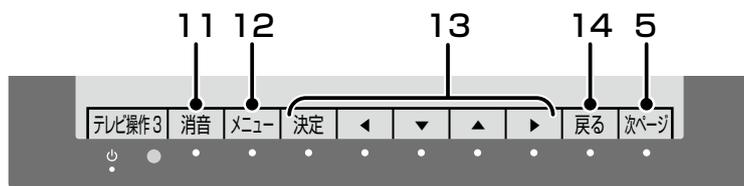
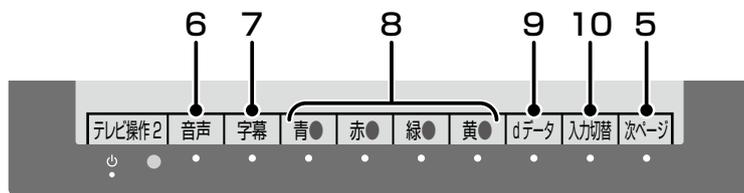
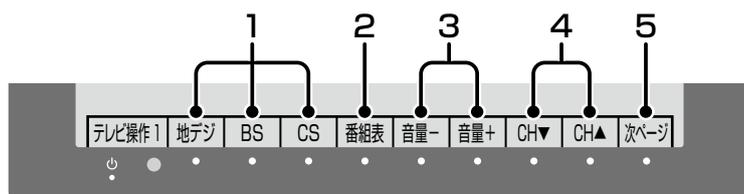
各部のなまえとはたらき

テレビ本体



1. **電源ボタン**
 〇マークを押すごとに「入/切」します。
2. **リモコン受光部**
 リモコンからの信号を受信します。
3. **品番表示位置**
 ※修理などのとき、品番をご確認ください。
4. **タッチキー**
 タッチメニューの表示や操作をします。
5. **スピーカー部**
 音が出ます。

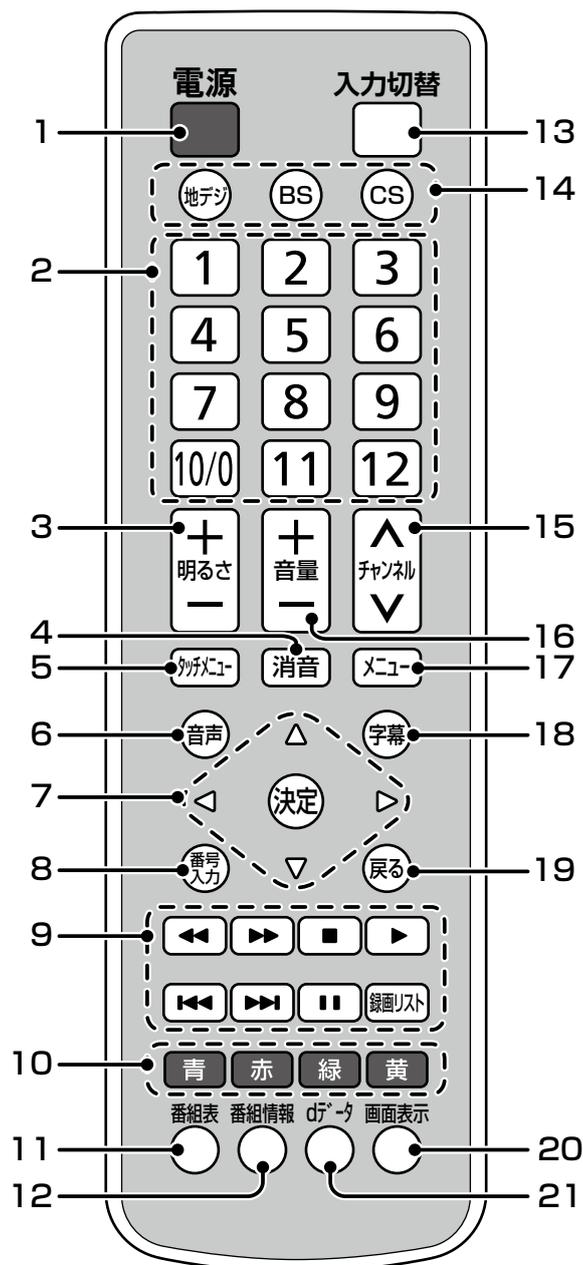
タッチメニュー



1. **切替ボタン**
 地上デジタル、BS 放送、CS 放送を切り替えます。
2. **番組表ボタン**
 番組表を表示します。
 (12 ページ参照)
3. **音量ボタン**
 音量を調整します。
4. **チャンネルボタン**
 チャンネルを順送りで変更します。
5. **次ページボタン**
 次のページへ移動します。
6. **音声ボタン**
 2か国語放送や多重音声放送の音声を切り替えます。
7. **字幕ボタン**
 字幕表示の「オン/オフ」を切り替えます。
 (16 ページ参照)
8. **カラーボタン**
 データ放送中に使用します。
9. **d データボタン**
 データ放送を表示します。
 (13 ページ参照)
10. **入力切替ボタン**
 地上デジタル放送、外部入力を切り替えます。
 (26、30 ページ参照)
11. **消音ボタン**
 一時的に音を消します。
12. **メニューボタン**
 メニュー画面を表示します。
 (14～15 ページ参照)
13. **選択/決定ボタン**
 メニューの項目選択や決定をします。
14. **戻るボタン**
 1 つ前の画面に戻ります。

リモコン

※電池の入れかたは「リモコンに電池を入れる」(9ページ参照)をご覧ください。

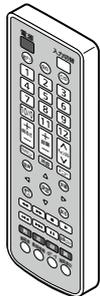
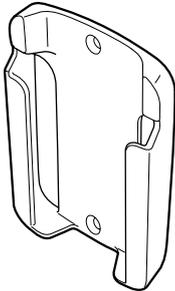
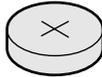


お願い

- ・リモコンは浴槽に浮かべたり沈めたりしないでください。(故障の原因となります。)

- 1. 電源ボタン**
押すごとに「入/切」します。
- 2. チャンネル数字ボタン**
見たいチャンネルを直接選びます。
- 3. 明るさボタン**
5段階に調整できます。
画面に明るさの段階が表示されます。
- 4. 消音ボタン**
一時的に音を消します。
- 5. タッチメニューボタン**
タッチメニューを表示します。
- 6. 音声ボタン**
2か国語放送や多重音声放送の音声を切り替えます。
- 7. 選択/決定ボタン**
メニューの項目選択や決定をします。
- 8. 番号入力ボタン**
チャンネル番号を入力して選局をします。
(22ページ参照)
- 9. 外部機器操作ボタン**
外部機器を操作するときを使用します。(HDMI接続のみ)
(26ページ参照)
- 10. カラーボタン**
データ放送中に使用します。
- 11. 番組表ボタン**
番組表を表示します。
(12ページ参照)
- 12. 番組情報ボタン**
番組情報を表示します。
(12ページ参照)
- 13. 入力切替ボタン**
地上デジタル放送、外部入力を切り替えます。
(26、30ページ参照)
- 14. 放送切替ボタン**
地上デジタル放送、BS放送、CS放送に切り替えます。
- 15. チャンネルボタン**
チャンネルを順送りで変更します。
- 16. 音量ボタン**
音量を調整します。
- 17. メニューボタン**
メニュー画面を表示します。
(14～15ページ参照)
- 18. 字幕ボタン**
字幕表示の「オン」「オフ」を切り替えます。
(16ページ参照)
- 19. 戻るボタン**
1つ前の画面に戻ります。
- 20. 画面表示ボタン**
視聴中のチャンネル、番組名などを表示します。
- 21. dデータボタン**
データ放送を表示します。
(13ページ参照)

付属品を確認する

| | | | |
|---|---|---|--|
| <p>リモコン ：1個</p>  | <p>リモコンホルダー ：1個</p>  | <p>ボタン電池（リモコン用） ：1個</p> <p>電池番号 ：CR2032</p>  | <p>・かんたんガイド：1部 ・取扱説明書（本書） ・B-CASカード台紙 ・重要書類在中チラシ：1部</p> <p>別売り ・HDMIケーブル</p>  |
|---|---|---|--|

B-CAS（ビーキャスト）カードについて

デジタル放送は、B-CASカード（miniB-CASカード）がなければ視聴することができません。
B-CASカードは、浴室天井裏の電源チューナーボックスに挿入されています。

- お客さまとB-CAS社との間で「B-CASカード使用許諾契約」が成立しております。
B-CASカード台紙に記載の「B-CASカード使用許諾契約約款」をよくお読みください。
- B-CASカードは浴室天井裏に設置しているため、お客さまによるカードの抜き差しはご遠慮ください。
- B-CASカードがB-CASカード台紙にパッケージされたまま引き渡された場合は、お求めの販売店にご連絡ください。
- 画面以上にB-CASカードに関するエラーメッセージが表示されたときや、カードの抜き差しの必要が生じた場合は、お求めの販売店にご連絡ください。

■B-CASカードの動作を確認する

（37ページ参照）

■B-CASカードのID番号を確認する

（37ページ参照）

- B-CASカードの故障・交換は、本製品の保証に準じて行います。
- 画面以上に「miniB-CASカードをご確認ください」とメッセージが表示されたときは、お求めの販売店にご相談ください。

リモコンの準備

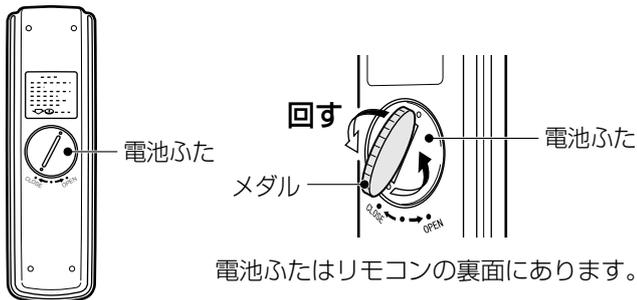
お願い

- ・リモコンの電池交換は水滴をよくふき取ってから行い、電池ふたは確実に閉めてください。(水が中に入ると故障の原因となります。)
- ・事前に取り付け箇所の、汚れや水滴をよくふき取ってください。
- ・リモコンが出し入れしやすい位置に取り付けてください。
- ・直射日光の当たらない位置に取り付けてください。
- ・必ず壁に取り付けてください。
- ・壁のつなぎ部分には取り付けないでください。
- ・気温が低いときは、両面テープをドライヤーなどであたためてからはり付けてください。

はじめて使うとき

リモコンに電池を入れる

1 メダルなどで、電池ふたを回して開ける



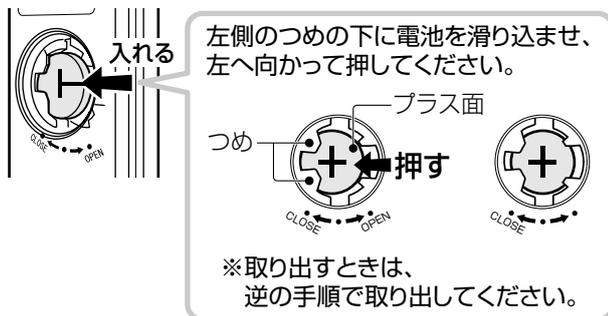
⚠ 注意



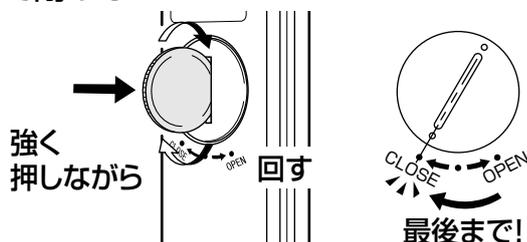
必ず守る

- 電池に表示してある注意内容を必ず守る
- 電池は＋極を確かめ、正しく入れる
- 使いきった電池は、すぐに取り出す
- 長時間使用しないときは、電池を取り出す
- 使用推奨期限内の電池を使用する
電池の発熱、破裂、液漏れによるけがや周囲汚損の原因となります。

2 プラス⊕面を上にして、電池を入れる

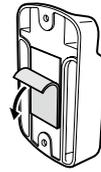


3 電池ふたを強く押しながらいし、最後まで閉める

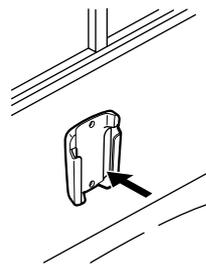


リモコンホルダーを取り付ける

1 両面テープのはく離紙をはがす



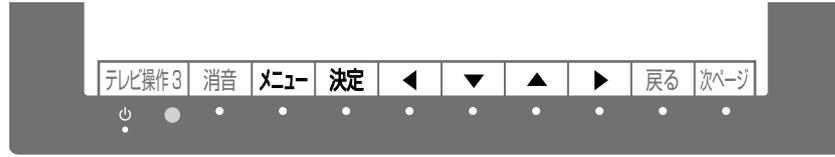
2 リモコンホルダーを壁に強く押しして確実にはり付け、しばらく放置する



ねじ留めは、しないでください。

地上デジタル放送の受信設定

はじめて使うとき



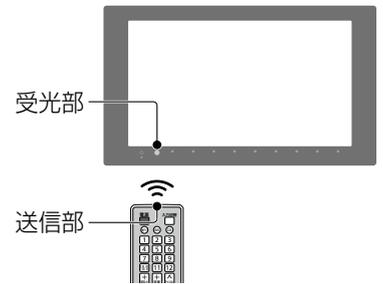
基本の操作

① ◀ ▶ ボタンで項目を選ぶ

② (決定) ボタンを押す

お願い

- ご購入後はじめて電源を入れたときは画面の指示に従って、受信設定を行ってください。
- リモコンの電池は入っていますか。(9ページ参照)
- リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの向きが悪い場合や、リモコン送信部・受光部が汚れている場合は、うまく動作しないことがあります。

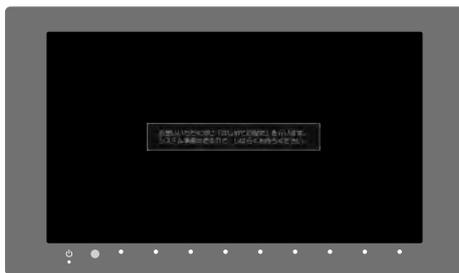


地域設定とチャンネル自動設定

お住まいの地域の緊急放送を確実に受信できるよう、必ず設定してください。

1 タッチキーまたはリモコンの、電源ボタンを押す

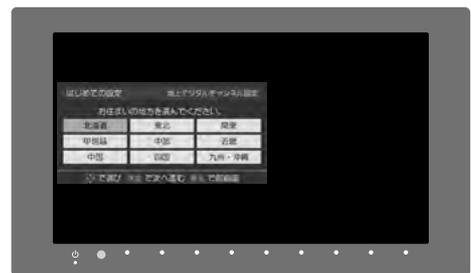
初期画面になります。



2 タッチキーまたはリモコンの、(決定) を押す



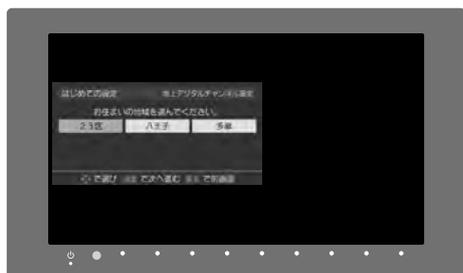
3 お住まいの「地方」を選ぶ



4 お住まいの「都道府県」を選ぶ



5 地域を確認し「はい」を選ぶ

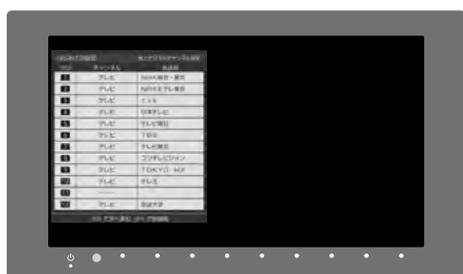


6 初期スキャンが実行されます

- お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを調べて一覧表示しますので、しばらくお待ちください。
- 10分程度かかる場合があります。



7 正しく設定されていることを画面で確認後、**決定**を押す



お知らせ

- ・同じチャンネル番号の放送を複数受信した場合、他の地域の放送局は、リモコンのチャンネル数字ボタンの空き番号に割り当てられます。

8 リモコンの **1** ~ **10/0** で郵便番号を入力する

訂正するときには \leftarrow ボタンを押してください。



9 お好みの映像メニューを選ぶ

操作が終了しました。



はじめて使うとき

やり直すとき

1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す

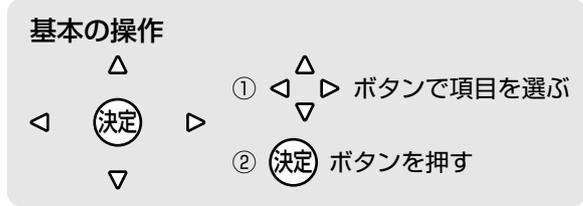
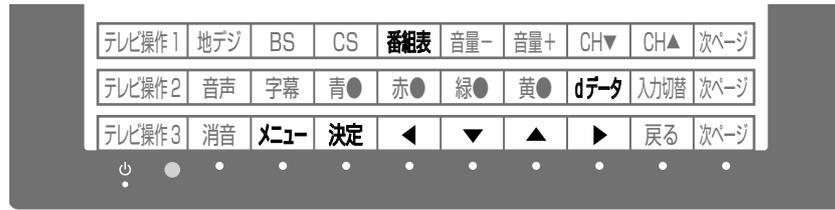
2 「設定」を選ぶ

3 「初期設定」を選ぶ

4 「はじめての設定」を選ぶ

「地域設定とチャンネル自動設定」(10ページ参照)の手順2から行ってください。

番組を探す・見る



ふだんの使いかた

番組表から探して見る(今すぐ見る、見るだけ予約)

お願い

- 受信状態によっては、番組表データを取得できない場合があります。その場合は、選んだ番組名の欄に「データがありません」と表示されます。リモコンの向きが悪い場合や、リモコン送信部・受光部が汚れている場合は、うまく動作しないことがあります。
- 地上デジタル放送を視聴しているときは、視聴しているチャンネルの番組詳細のみが更新されます。
- 電源を入れた直後は番組表が表示されるまでに1分程度かかる場合があります。
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と表示される内容が一致しないことがあります。

1 タッチキーまたはリモコンの ^{番組表} ○ を押す
 押すたびに次のように変わります。
 フル番組表 → ミニ番組表 → オフ → フル番組表 …

2 番組を選び 決定 を押す
 番組内容が表示されます。

放送中の番組

見る を押す

選んだ番組が映ります。

放送予定の番組

視聴予約 を押す

予約した番組は「予約リスト」に登録されます。

3 番組を見ているときに ^{番組情報} ○ を押す
 番組説明が表示されます。約60秒で表示は消えます。
 表示を消すときは、再度、番組情報ボタンを押してください。

お願い

- 電源ボタンを押した直後や、チャンネルを変更した直後は、データを取得できないため番組情報が表示されない場合があります。このようなときは、しばらくしてから操作してください。
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と表示される内容が一致しないことがあります。

番組表の設定をする

1 タッチキーまたはリモコンの ^{番組表}  を押す

2  を押す

番組表のメニューが表示されます。

| | |
|---------------|---------------------|
| 番組説明 | 番組の説明が表示されます。 |
| 番組情報の取得 | 番組情報を取得します。 |
| マルチ表示 | 番組表の表示の仕方を変更できます。 |
| 文字サイズ変更 | 番組表の文字サイズを変更できます。 |
| ジャンル色分け | ジャンルで色分けができます。 |
| 番組記号一覧 | 番組表にある記号の一覧です。 |
| 番組表表示設定 | 番組表の表示設定を変更できます。 |
| 予約リスト | 視聴予約リストを確認できます。 |
| テレビ/ラジオ/データ切換 | テレビ、ラジオ、データを切り替えます。 |

ふだんの使いかた

日時を指定予約して見る(見るだけ予約)

1 タッチキーまたはリモコンの  を押す

2 「その他の操作」を選ぶ

3 「予約リスト」を選ぶ

青ボタンで日時、チャンネルを指定して視聴予約ができます。

データ放送を見る

タッチキーまたはリモコンの ^{データ}  を押す

データ放送を終了する場合

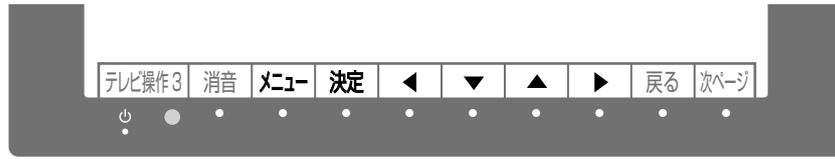
1 タッチキーまたはリモコンの  を押す

2 「その他の操作」を選ぶ

3 「データ放送終了」を選ぶ

メニュー一覧

さまざまな設定をメニューから行うことができます。



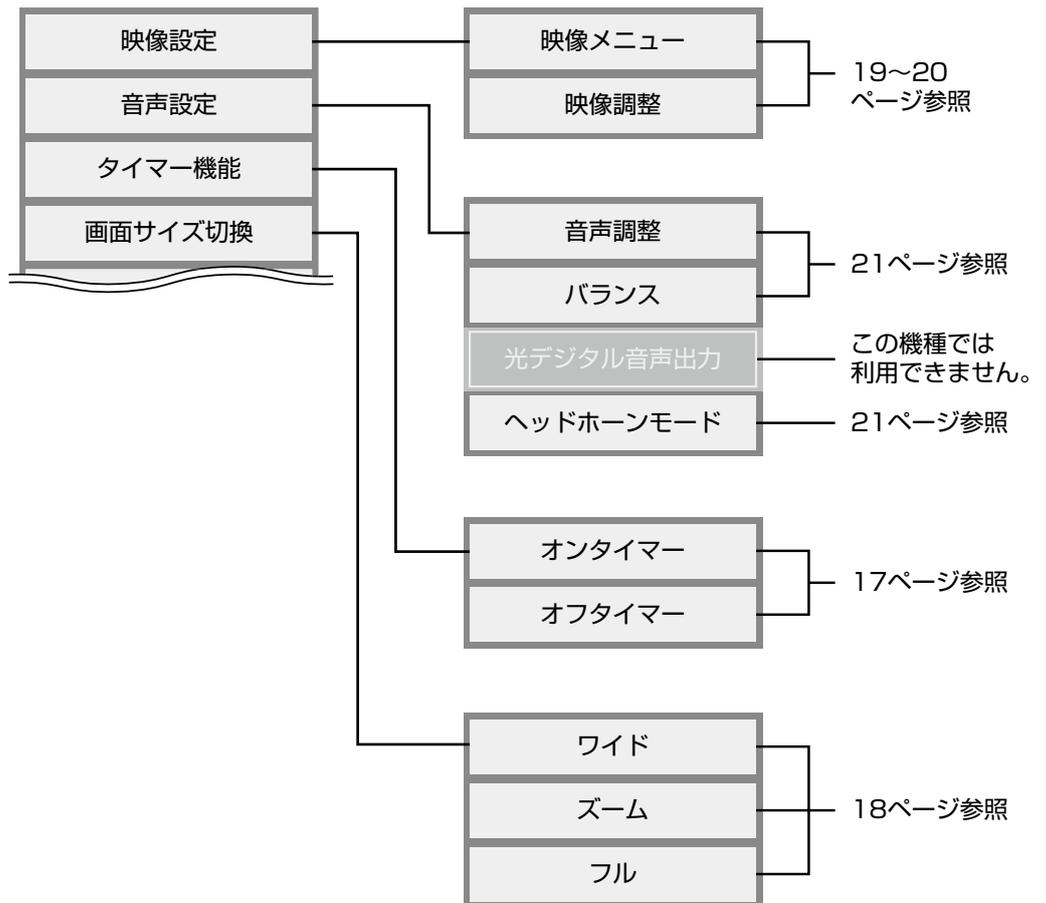
基本の操作

① ◀ ▶ ボタンで項目を選ぶ

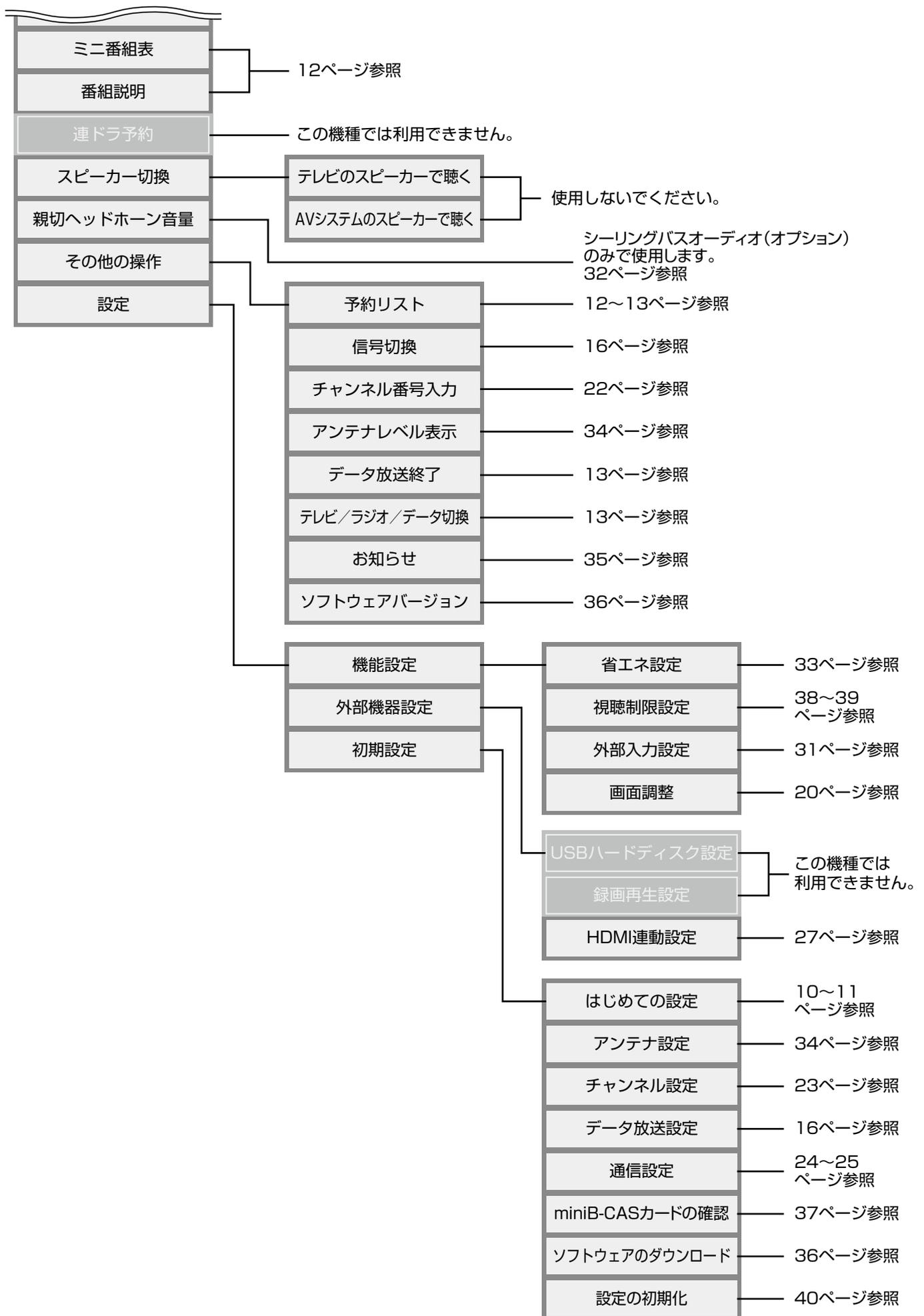
② 決定 ボタンを押す

お知らせ

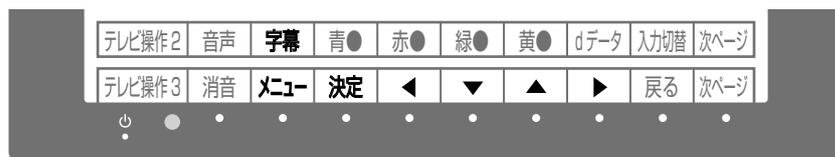
- 60秒間操作しないとメニュー表示が消えます。



さらに使いこなす



字幕・文字スーパーを表示する



字幕を表示する

字幕放送の視聴中に字幕を表示します。

リモコンから選ぶ

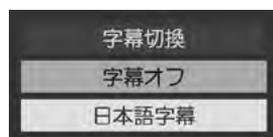
リモコンの **字幕** を押す

押すたびに次のようになります。

日本語 ↔ オフ

メニューから選ぶ

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「その他の操作」を選ぶ
- 3 「信号切換」を選ぶ
- 4 「字幕切換」を選ぶ
- 5 設定したい項目を選ぶ



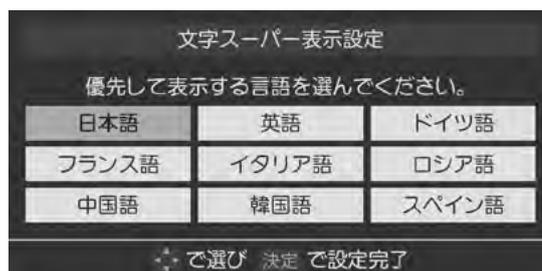
お願い

- 番組によっては、字幕放送に対応していない場合があります。

文字スーパーを表示する

ニュース速報など視聴者にお知らせしたいことを番組放送中に文字で表示します。

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
 - 2 「設定」を選ぶ
 - 3 「初期設定」を選ぶ
 - 4 「データ放送設定」を選ぶ
 - 5 「文字スーパー表示設定」を選ぶ
 - 6 「表示する」を選ぶ
 - 7 設定したい言語を選ぶ
- 設定後は戻るボタンを押してください。



お願い

- 文字スーパーの設定を「なし」に設定しても、緊急警報情報などのように強制的に表示するよう指示された文字スーパーを受信した場合は、文字スーパーを表示します。

タイマーを使う

電源を自動で「入/切」する設定ができます。



基本の操作

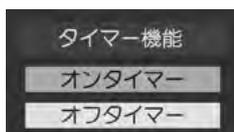
- ① ②
- ① ◀ ▶ ボタンで項目を選ぶ
- ② 決定 ボタンを押す

1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す

2 「タイマー機能」を選ぶ

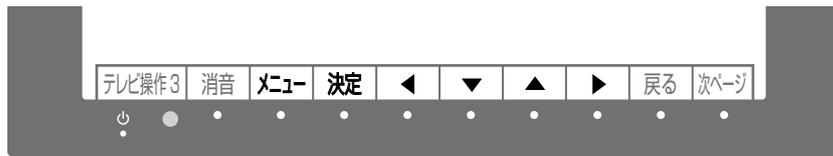
3 お好みの設定を選ぶ

設定後は戻るボタンを押してください。

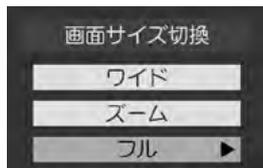


さらに使いこなす

画面サイズを切り替える



- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「画面サイズ切換」を選ぶ
- 3 設定したい項目を選ぶ
設定後は戻るボタンを押してください。

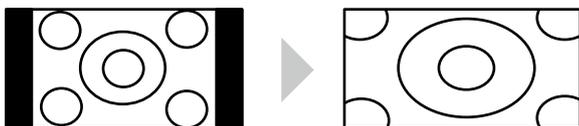


お知らせ

- 60秒間操作しないとメニュー表示が消えます。
- 画面比率や接続した外部機器の設定条件により表示内容は変わります。

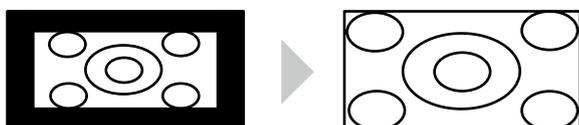
ワイド

左右に黒帯のある画像を、画面いっぱいに拡大して表示します。上下の映像が画面の外に隠れ、横伸びします。



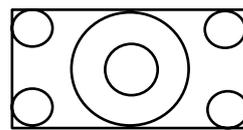
ズーム

上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。



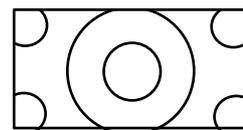
フル

▷を押して「ジャストスキャン」と「オーバースキャン」が選択できます。



ジャストスキャン

16:9の映像を画面内にすべて表示します。

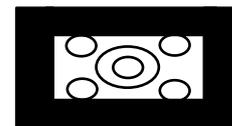


オーバースキャン

16:9の映像を少し大きめに表示します。

Dot by Dot

入力信号の解像度そのまま画面に表示します。映像の無い部分は黒く表示されます。



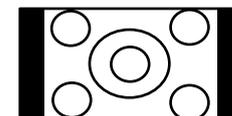
映画字幕

レターボックスのワイド映像の下に字幕が入っている場合に、字幕を隠れにくく表示します。

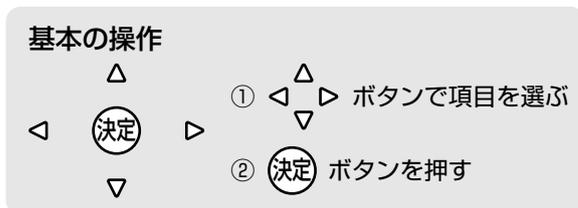


ノーマル

4:3の映像をそのままの比率で表示します。



画質・画面・音質を調整する



画質を調整する

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「映像設定」を選ぶ
- 3 調整する項目を選ぶ
詳細は下記をご覧ください。



- 4 お好みの画質に調整する
設定後は戻るボタンを押してください。

お願い

- 60秒間操作しないとメニュー表示が消えます。

映像メニュー

| | |
|-----------------|--|
| あざやか | 日中の明るいリビングで迫力のある映像を楽しむときに適した設定です。 |
| 標準 | 落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定です。 |
| ライブ | 暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。 |
| 映画 | 暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。 (暖かみのある色合いが再現されます。) |
| ゲーム (外部入力設定時のみ) | ゲームのレスポンスを重視した映像を見るときに適した設定です。 |
| PC (外部入力設定時のみ) | パソコンの画面を表示するときに適した設定です。 |

(次のページにつづく)

映像調整(放送/再生)

| | |
|----------|---------------------------------------|
| バックライト | バックライトの明るさをお好みに調整できます。 |
| コントラスト | 設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。 |
| 黒レベル | 設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。 |
| 色の濃さ | 設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。 |
| 色あい | 設定値が低いと紫っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。 |
| シャープネス | 設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。 |
| 詳細調整 | 映像をより細かく調整します。(下記詳細調整をご覧ください。) |
| 映像調整の初期化 | 映像メモリー調整を初期設定に戻します。 |

詳細調整(放送/再生)

| | |
|----------------|--|
| カラーイメージコントロール | 画像の色調を調整することができます。 |
| ノイズリダクション | 「MPEG NR」 動きの速い映像のブロックノイズ(モザイク状のノイズ)と、モスキートノイズ(輪郭の周囲のノイズ)を減らす機能です。 「ダイナミックNR」 映像のざらつきやちらつきを減らします。 |
| ダイナミックバックライト制御 | 映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調節し、メリハリのある映像にします。 ・オン: バックライト制御の機能が働きます。 ・オフ: この機能は働きません。 |
| シネマスキャン | 映像ソフト(フィルム映像)がもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。 ※映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。 ※映像に違和感がある場合は、「オフ」に設定してください。 |
| 色温度 | 色をきめ細かく再現することができます。 |
| ダイナミックガンマ | 映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。 |
| ガンマ調整 | 映像の暗い部分と明るい部分の階調バランスを調整します。 |
| 2Dアパチャー | 映像の横線輪郭を強調したり弱めたりする機能です。数値が大きいほど、輪郭を強調します。 |

さらに使いこなす

画面調整する

- 1 タッチキーまたはリモコンの **[メニュー]** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「機能設定」を選ぶ
- 4 「画面調整」を選ぶ

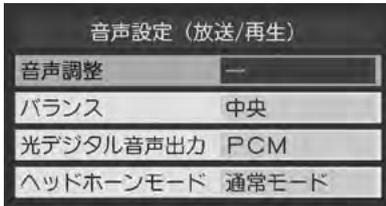
5 お好みの項目を選ぶ

設定後は戻るボタンを押してください。

| | |
|----------|---------------------|
| 上下振幅調整 | 映像の縦のサイズを調整します。 |
| 上下画像位置 | 映像の表示位置を上下方向に調整します。 |
| 左右振幅調整 | 映像の横のサイズを調整します。 |
| 画面調整の初期化 | 初期状態に戻ります。 |

音質を調整する

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「音声設定」を選ぶ
- 3 調整する項目を選ぶ



お願い

- サラウンドを「オン」にすると、臨場感あふれるサラウンド効果が楽しめます。（番組の音源によってはサラウンド効果を感じられない場合や、音量が大きくなったように聞こえる場合があります。）
- 「光デジタル音声出力」はこの機種では利用できません。設定を変更しないでください。

4 お好みの音質に調整する

設定後は戻るボタンを押してください。

音声調整（放送／再生）

| | |
|----------|---|
| 高音 | 設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。 |
| 低音 | 設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。 |
| サラウンド | ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。「オン」「オフ」で切り替えます。 |
| 高音強調 | ドラマのセリフや楽器の輪郭を明瞭にして聞きやすくします。「オン」「オフ」で設定します。 |
| 低音強調 | 低音の効果を強くすることができ、豊かな低音を再生します。「強」「弱」「オフ」で設定します。 |
| 音声調整の初期化 | 調整した内容をすべて出荷時の状態に戻します。 |

バランス

| | |
|------|---|
| バランス | 左右のスピーカーの音量バランスを調整します。「左50」（左を強く）～中央（左右同じ）～「右50」（右を強く）の範囲で調整できます。 |
|------|---|

光デジタル音声出力

| | |
|---------|----------------|
| PCM | この機種では利用できません。 |
| デジタルスルー | |
| サラウンド優先 | |

ヘッドホーンモード

| | |
|-------|---|
| 通常モード | ヘッドホーンのプラグを差し込むとバステレビのスピーカーの音が消えます。シーリングバスオーディオのみから音がでます。 |
| 親切モード | ヘッドホーンのプラグを差し込んであっても、バステレビおよびシーリングバスオーディオ両方から音が出ます。 |

チャンネル番号を入力して番組を見る



さらに使いこなす

リモコンから直接入力する場合

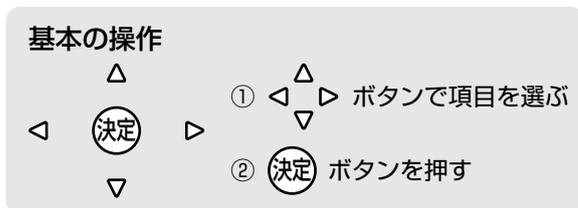
- 1 **チャンネル入力** を押す
- 2 地デジ、BS、CSを選ぶ
- 3 **1** ~ **10/0** でチャンネル番号を入力する

⇄ 地デジ _ _ _ _

メニューから選ぶ場合

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「その他の操作」を選ぶ
- 3 「チャンネル番号入力」を選ぶ
- 4 地デジ、BS、CSを選ぶ
- 5 リモコンの **1** ~ **10/0** でチャンネル番号を入力する

チャンネルを追加／スキップの設定をする

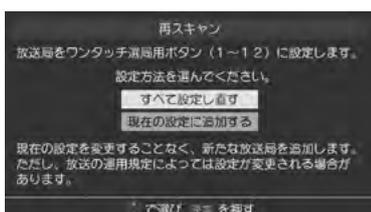


チャンネルを追加する

次のような場合に使用してください。

- 新しい放送局が開局した。
- 受信環境が改善され、受信できる放送局が増えた。

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ
- 4 「チャンネル設定」を選ぶ
- 5 「地上デジタル自動設定」を選ぶ
- 6 「再スキャン」を選ぶ
- 7 お好みの設定方法を選ぶ



- 8 「はい」を選ぶ
- 正しく設定されていることを画面で確認後、決定ボタンを押してください。設定後は戻るボタンを押してください。

お願い

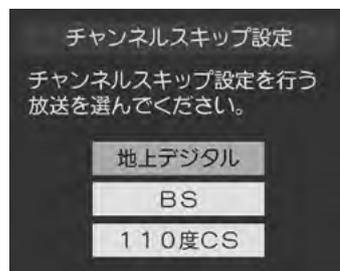
- 手順6で「初期スキャン」を選んで行うと地上デジタル放送に関するチャンネル設定が全て消去されます。ご注意ください。

お知らせ

- チャンネル追加後も、「チャンネル自動設定」(10～11ページ参照)で登録済みのチャンネルに変更はありません。
- チャンネル追加設定をすると、「チャンネルスキップ」の設定内容がリセットされます。再度、設定してください。

チャンネルスキップを設定する

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ
- 4 「チャンネル設定」を選ぶ
- 5 「チャンネルスキップ設定」を選ぶ
- 6 チャンネルスキップ設定したい放送を選ぶ
設定後は戻るボタンを押してください。



お知らせ

- チャンネルスキップを設定した放送局のチャンネル数字ボタンを操作した場合、「このボタンは登録されていません」という表示が出ます。
- チャンネル \wedge Vボタンを操作した場合も、チャンネルスキップを設定した放送局は選局できません。

さらに使いこなす

通信設定



基本の操作

- ① ◀ ▶ ボタンで項目を選ぶ
- ② (決定) ボタンを押す

お知らせ

- お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をし直す場合などに、必要に応じて設定します。

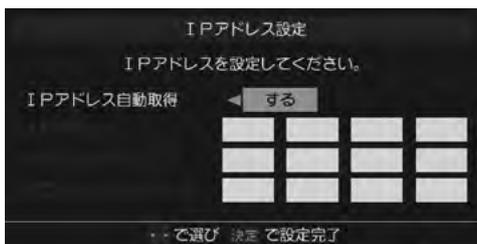
IP アドレス設定をする

インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ
- 4 「通信設定」を選ぶ
- 5 「IPアドレス設定」を選ぶ
- 6 「する」を選ぶ

お知らせ

- 「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS設定」の「DNSアドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。



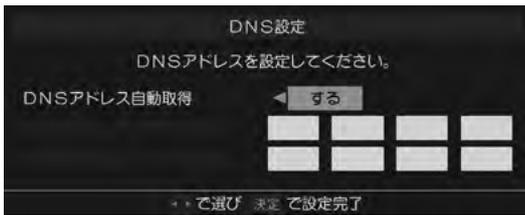
自動取得できないネットワーク環境の場合

- 1 「IPアドレス自動取得」で「しない」を選ぶ
- 2 「IPアドレス」を選び、リモコンの **1** ~ **10/0** で入力する
0~255の範囲で数字(左端の欄は0以外)を4か所の欄に入力してください。
- 3 「サブネットマスク」と「デフォルトゲートウェイ」も同様に入力する
- 4 (決定) を押す

DNS 設定をする

DNS（ドメインネームシステム）は、ドメイン名をIPアドレスに置き替える機能を持ちます。
IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

- 1 タッチキーまたはリモコンの **[X]キー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ
- 4 「通信設定」を選ぶ
- 5 「DNS設定」を選ぶ
- 6 「する」を選ぶ



お知らせ

- ・「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNSアドレス自動取得」は自動的に「しない」に設定され、「する」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

自動取得できないネットワーク環境の場合

- 1 「DNSアドレス自動取得」で「しない」を選ぶ
- 2 「DNSアドレス(プライマリ)」を選び、リモコンの **[1]** ~ **[10/0]** で入力する
0~255の範囲で数字(左端の欄は0以外)を4か所の欄に入力してください。
- 3 「DNSアドレス(セカンダリ)」も同様に
入力する
- 4 **[決定]** を押す

プロキシ設定をする

インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。

- 1 タッチキーまたはリモコンの **[X]キー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ
- 4 「通信設定」を選ぶ
- 5 「プロキシ設定」を選ぶ
- 6 「使用する」を選ぶ

お知らせ

- ・ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。
- ・ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

MAC アドレスを確認する

ネットワーク上に接続されている機器を識別するために本機に割り当てられている番号です。

- 1 タッチキーまたはリモコンの **[X]キー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ
- 4 「通信設定」を選ぶ
- 5 「MACアドレス」を選ぶ
確認後は戻るボタンを押してください。

さらに使いこなす

接続テストをする

「通信設定」が正しいかテストします。

- 1 タッチキーまたはリモコンの **[X]キー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ
- 4 「通信設定」を選ぶ
- 5 「接続テスト」を選ぶ

「インターネットに接続できました。」と表示された場合

「終了」を選び、**[決定]** を押す

正しく接続できなかった場合

「再テスト」を選ぶ

接続テスト結果画面が表示されます。

再テストを行っても接続できない場合は、「通信設定」を選んで決定ボタンを押し、設定をやり直してください。

外部機器を接続する(オプション)

HDMI接続
の場合

■外部機器のコントロールについて

バステレビのリモコンで、HDMIケーブルで接続した外部機器を操作（電源、チャンネル、停止、再生、早戻し、早送りなど）することができます。

※お手持ちの外部機器によっては操作できない機種や、メニュー操作など機能の一部が正しく操作できない機種もあります。その場合には、浴室外に設置した外部機器から操作を行ってください。

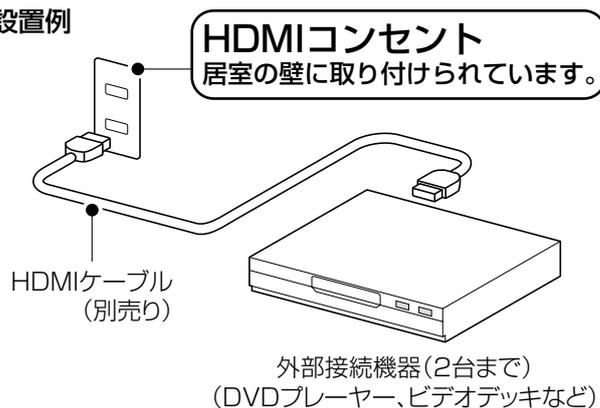
※HDMI出力端子のない外部機器は、接続できません。

●HDMIケーブルはパナソニック製、RP-CHE50（5m）を推奨します。

お願い

- ・HDMIケーブルは別途ご購入ください。

設置例



外部機器を見る

HDMI接続の場合



お願い

- ・バステレビのリモコンで外部機器を操作する場合、本機の動作時間に外部機器の動作時間がプラスされます。リモコンのボタンを操作してからテレビの画面が反応するまで、時間がかかりますが故障ではありません。
- ・画面表示が「HDMI1」のときはHDMI1に接続した機器、「HDMI2」のときはHDMI2に接続した機器の操作が可能です。

入力切替

タッチキーまたはリモコンの  を押し、「HDMI1」または「HDMI2」を選ぶ

押すたびに次のように変わります。

地デジ (BS・CS) → HDMI1 → HDMI2 → 地デジ (BS・CS) …

外部機器を使う

外部機器の操作

1 外部機器の電源を入れる

2 外部機器操作ボタンで、外部機器を操作する

■外部機器操作の設定を変更する

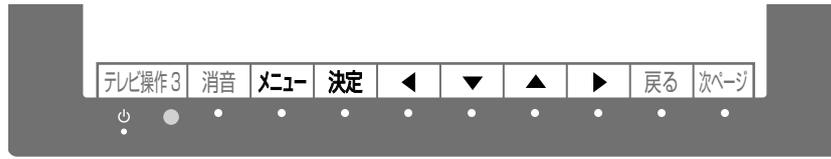
HDMI連動の設定を変更することができます。(27ページ参照)

■画質や音質などをお好みに調整する

外部機器を見る場合も、「映像設定」、「音声設定」、の各機能が使用できます。(19～21ページ参照)

外部機器の設定

HDMI接続の場合



- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「外部機器設定」を選ぶ
- 4 「HDMI連動設定」を選ぶ

HDMI連動設定メニューが表示されます。

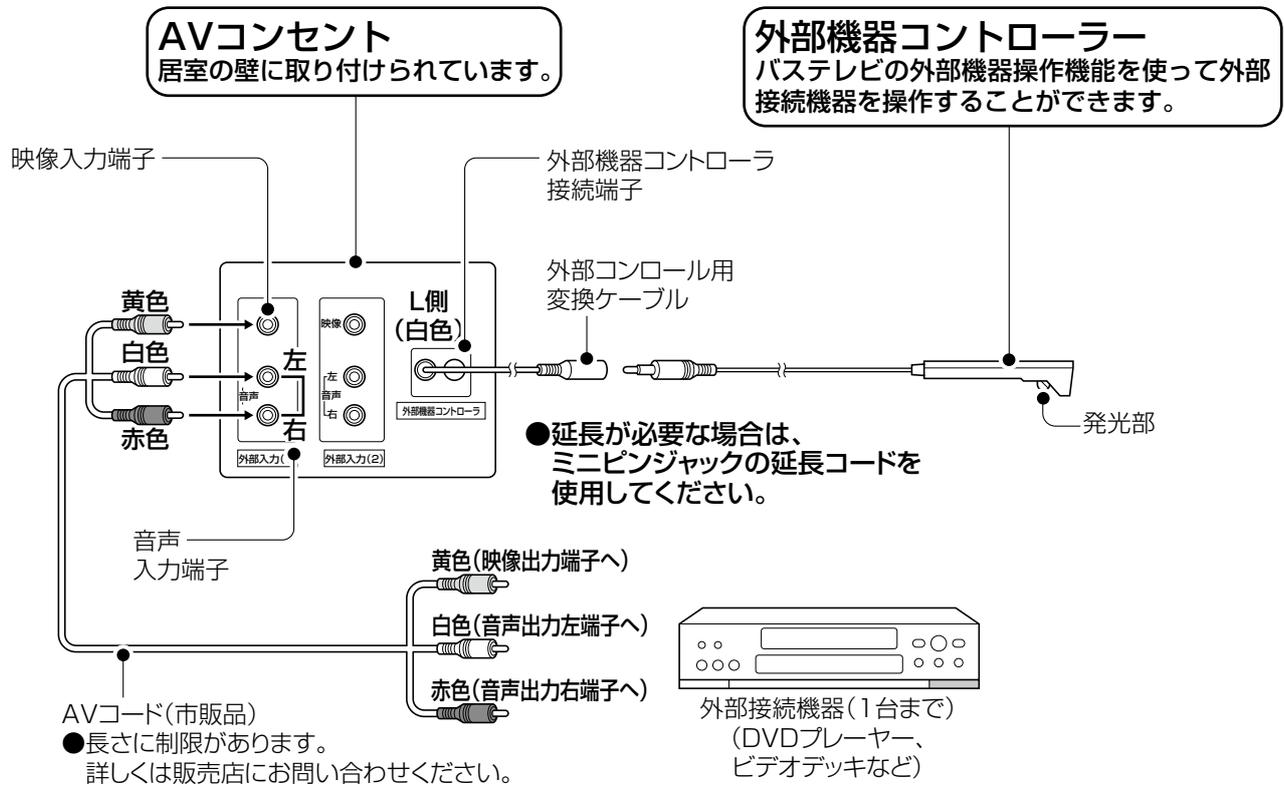
| | | |
|--------------|----------------|---|
| USBハードディスク設定 | この機種では利用できません。 | |
| 録画再生設定 | この機種では利用できません。 | |
| HDMI連動設定 | HDMI連動機能 | この機種のリモコンで外部機器操作ができます。 |
| | HDMI連動機器リスト | 1台以上のHDMI連動機器を接続するとき、接続されたHDMI機器を表示します。 ※表示されていない場合 赤 を押すとHDMI機器が表示されます。 (機器の電源を「入」にする必要があります。) |
| | リモコン動作モード | リモコン動作モードに対応したレコーダーを接続している場合、「連動機器優先」に設定すると本機のリモコンでレコーダーを操作できる機能が増えます。 |
| | 連動機器→テレビ入力切替 | 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切替をして、その機器の選択をする機能です。 (本機の電源「入」の時) |
| | 連動機器→テレビ電源 | 連動機器の電源を入れた時に、本機の電源が入ります。 |
| | テレビ→連動機器電源オフ | 本機の電源を切ったときに、連動機器の電源が切れます。 |
| | PC映像連動 | この機種では利用できません。 |
| | AVシステム連動 | この機種では利用できません。 |
| | AVシステム音声連動 | この機種では利用できません。 |
| | 優先スピーカー | この機種では利用できません。 |
| AVシステム音声入力設定 | この機種では利用できません。 | |

※接続される外部機器により、本機のリモコンとタッチキーから操作できない機種や、機器の一部（メニュー操作など）が正しく操作できない機種、連動設定が動かない機種があります。その場合は、浴室外の設置機器のリモコンで操作を行ってください。

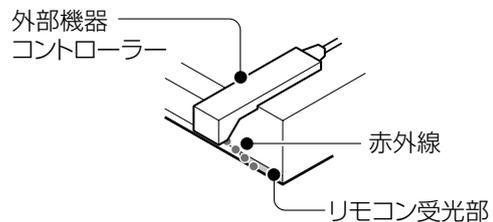
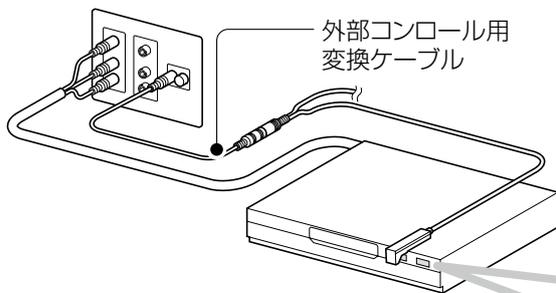
外部機器を接続する

既設のAVコンセントがある場合

交換前のバステレビのAVコンセントが取り付けられている場合、外部入力1系統のみ使用可能です。
接続は外部機器の電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。



設置例



- 外部機器コントローラの発光部が、リモコン受光部に向けて設置されているか確認してください。
- 外部機器コントローラは、両面テープではり付けられています。両面テープを無理にはがすと、機器の表面をいためることがありますので、ご注意ください。

お願い

- ・接続する外部機器のリモコンの方式によって、リモコンから操作できない機種や、機器の一部（メニュー操作など）が正しく操作できない機種があります。そのような場合は、外部機器コントロール機能が使用できませんので、浴室外に設置した外部機器で操作を行ってください。
- ・アナログ出力端子のない外部機器は、接続できません。
- ・外部機器のリモコンは、赤外線方式に設定のうえ、できるだけバステレビのリモコン受光部に近づけて操作してください。（外部機器のリモコンが無線方式の場合、リモコンコードは設定できません。）

リモコンコードを登録する

AVコンセントが
ある場合



基本の操作



1 バステレビのリモコンの **外部操作** を長押しする(約2秒)

外部操作メニューが表示されます。

2 記憶させる外部操作1～4を選択する

次ページ を押すごとに、

外部操作1 → 外部操作2 → 外部操作3 → 外部操作4 → 外部操作1…

3 外部操作メニュー表示中に **外部操作** を長押しする

メニューの左端のボタンが点滅します。

4 ◀▶ で登録したいボタンを選ぶ

5 外部機器リモコンのボタンを押す

「ピピッ」と音が鳴って登録が完了します。

6 4、5を繰り返す

7 リモコンコード登録を終えたら **戻る** を押す

点滅が終了します。もう一度 **戻る** を押すとタッチキー表示が消えます。

※外部機器リモコンは、赤外線方式に設定のうえ、できるだけバステレビのリモコン受光部に近づけて操作してください。(外部機器のリモコンが無線方式の場合、リモコンコードは設定できません。)

※外部機器のリモコンを操作するときに、押し時間が短かったり、ボタンを何度も押ししたりして設定すると、外部機器が正常に動作しない場合があります。

※外部機器操作のボタンはすべて登録する必要はありません。お使いになる外部機器に合わせて登録するボタンを選んでください。

※登録済みのボタンに再登録すると、上書きされます。

外部機器を使う

リモコンコードを解除する場合

1 バステレビのリモコンの **外部操作** を長押しする(約2秒)

外部操作メニューが表示されます。

2 外部操作4を選ぶ

3 ◀▶ で「一括消去」を選ぶ

「一括消去」が青表示になります。

4 **外部操作** を長押しする

「一括消去」が点滅します。

5 **決定** を長押しする

「ピピッ」と音が鳴り、一括消去されます。

6 **戻る** を押す

点滅が終了します。もう一度 **戻る** を押すとタッチキー表示が消えます。

外部機器を見る

AVコンセントが
ある場合



お願い

- ご使用になる外部機器によっては、バステレビのタッチキーでは操作できないことや、特定のボタンが使用できないことがあります。
- 外部機器が正常に動作しない場合は、リモコンコードの再設定、外部機器コントローラーの位置調整などを行ってください。

基本の操作



1 「外部入スキップ設定」を行う

ビデオを「しない」に設定してください。(31ページ参照)

2 タッチキーまたはリモコンの **入力切替** を押し、「ビデオ」を選ぶ

押すたびに次のようになります。

地デジ (BS・CS) → HDMI1 → HDMI2 → ビデオ → 地デジ (BS・CS) …

外部機器を使う

外部機器の操作

バステレビのタッチキーで操作してください

リモコンの **入力切替** を長押しする(約2秒)

外部機器操作メニューが表示されます。

■画質や音質などをお好みに調整する

外部機器の場合も、「映像設定」、「音声設定」、の各機能が使用できます。(19~21ページ参照)

外部入力の設定をする



基本の操作

① ◀ ▶ ボタンで項目を選ぶ

② (決定) ボタンを押す

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
 - 2 「設定」を選ぶ
 - 3 「機器設定」を選ぶ
 - 4 「外部入力設定」を選ぶ
- 外部入力設定メニューが表示されます。

| | |
|------------|--|
| 外部入力表示設定 | 入力切替の表示を変更します。 ブルーレイ / DVD / VTR / CATV / ゲーム / チューナー / PC / ムービーカメラ / 表示しない |
| 外部入力スキップ設定 | 入力切替のスキップを「する」「しない」を設定します。 |
| RGBレンジ設定 | RGBレンジを自動識別できない機能を接続している場合は機器の仕様に合わせてください。 オート：自動識別します。 フルレンジ：RGBレンジ0～255の場合に選択します。 リミテッドレンジ：RGBレンジ16～235の場合に選択します。 |
| ビデオ音声入力設定 | この機種では利用できません。 |

シーリングバスオーディオで聴く(オプション)

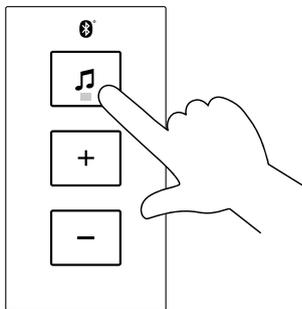
※別売のシーリングバスオーディオ接続コードが必要です。

外部音源機器の音声出力を有線接続するための外部音源機器操作ユニット(オプション)と併設できません。



シーリングバスオーディオから音を出す

- 1 シーリングバスオーディオのリモコンの **🎵** を押す
LEDが点灯(赤色)します。



液晶リモコンで使用する場合は、液晶リモコンの取扱説明書も併せてご覧ください。

お願い

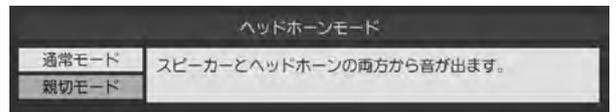
- 音量を小さく設定してください。(詳しくはシーリングバスオーディオの取扱説明書をご覧ください。)

お知らせ

- シーリングバスオーディオリモコンのスイッチ操作を3時間行わなかった場合、接続が自動的に解除され、シーリングバスオーディオの電源が切れます。

バステレビ、シーリングバスオーディオ両方から音を出す

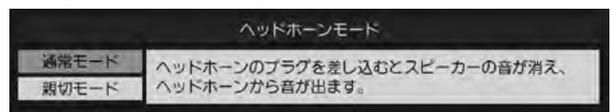
- 1 タッチキーまたはリモコンの **X-Menu** を押す
 - 2 「音声設定」を選ぶ
 - 3 「ヘッドホーンモード」を選ぶ
 - 4 「親切モード」を選ぶ
- 設定後は戻るボタンを押してください。



※シーリングバスオーディオが「切」のとき、またはシーリングバスオーディオのリモコンのLEDが点灯(青)のときは、バステレビのみから音が出ます。

シーリングバスオーディオのみから音を出す

- 1 タッチキーまたはリモコンの **X-Menu** を押す
 - 2 「音声設定」を選ぶ
 - 3 「ヘッドホーンモード」を選ぶ
 - 4 「通常モード」を選ぶ
- 設定後は戻るボタンを押してください。



※バステレビから音は出なくなります。

省エネ設定をする



基本の操作

- ① ◀ ▶ ボタンで項目を選ぶ
- ② 決定 ボタンを押す

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「機能設定」を選ぶ
- 4 「省エネ設定」を選ぶ

省エネ設定のメニューが表示されます。
設定後は戻るボタンを押してください。

| | |
|-----------|---|
| 節電モード | バックライトの明るさを調整し消費電力をお好みに調整できます。 「標準」「減1」「減2」から選択します。 |
| 番組情報取得設定 | 電源待機時に地上デジタル放送の番組情報を自動的に取得します。 「取得する」「取得しない」を選択します。 |
| 無操作自動電源オフ | テレビの無操作状態が約3時間続くと、電源が切れます。 「待機にする」「動作しない」を選択します。 |
| オンエア無信号オフ | 放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が切れます。 「待機にする」「動作しない」を選択します。 |
| 外部入力無信号オフ | 外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が切れます。 「待機にする」「動作しない」を選択します。 |

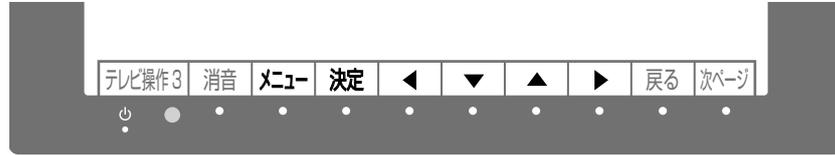
アンテナ設定をする

各放送局の受信レベルの目安を確認します。

受信レベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。

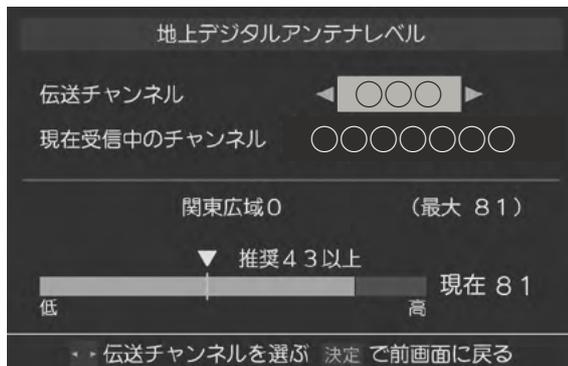
また、アンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

お近くの電気店にご相談ください。



アンテナレベルを確認する

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「その他操作」を選ぶ
- 3 「アンテナレベル表示」を選ぶ
各チャンネルのアンテナレベルが表示されます。
確認後は決定ボタンを押してください。



現在のアンテナレベルが表示されます。
◀▶ボタンで他の放送局も確認できます。

- BS、CSのアンテナレベルを確認する場合
「設定」→「初期設定」→「アンテナ設定」でも
アンテナレベルを表示できます。

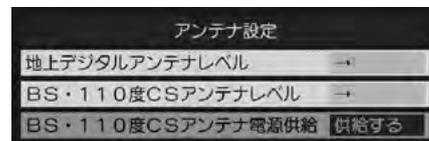
お知らせ

- ・表示される「アンテナレベル」はアンテナの方向調整などにお使いいただくための目安で、絶対的な電波の強さを示すものではありません。
- ・地上デジタルの放送は、UHF 放送の13~62ch を使って行われますが、この放送局ごとの割り当てを、物理チャンネルと呼んでいます。

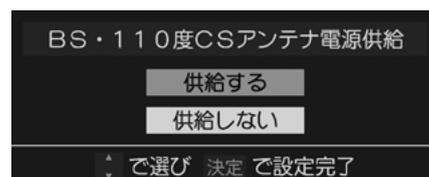
アンテナ設定

BS・110度CS共用アンテナは電源を必要とします。
BS・CS/U・V混合器や分波器は電流通過型の物が必要です。
※マンションなど共聴システム、BS・CS既視聴環境の場合は、本機より電源を供給する必要はないため、BS・110度CSアンテナ電源供給を「供給しない」に設定してください。

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ
- 4 「アンテナ設定」を選ぶ
- 5 「BS・110度CSアンテナ電源供給」を選ぶ



- 6 お好みの設定に変更する
設定後は戻るボタンを押してください。



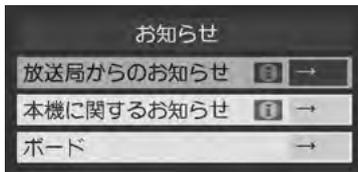
お知らせを見る



基本の操作

- ① ◀ ▶ ボタンで項目を選ぶ
- ② 決定 ボタンを押す

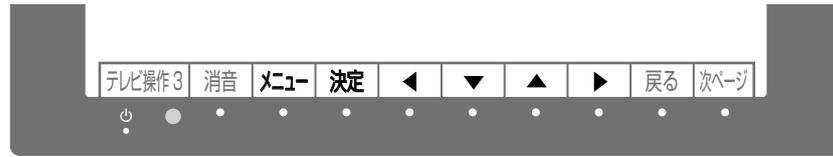
- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「その他の操作」を選ぶ
- 3 「お知らせ」を選ぶ
- 4 確認したいお知らせを選ぶ
確認後は戻るボタンを押してください。



お知らせ

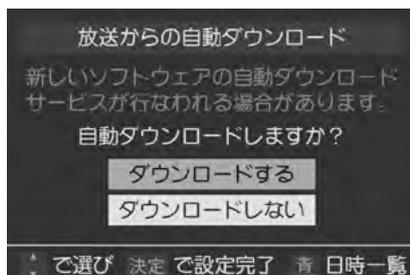
- お知らせは最大8通まで保存され、以降、古い順に自動的に消去されますので、定期的にご確認ください。
- お知らせは手動で削除することはできません。

ソフトウェアを自動ダウンロードする



自動ダウンロードの設定

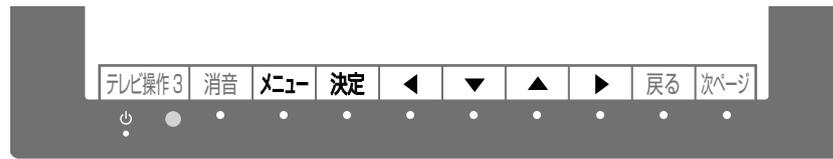
- 1 タッチキーまたはリモコンの **Xメニュー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ
- 4 「ソフトウェアのダウンロード」を選ぶ
- 5 「放送局からの自動ダウンロード」を選ぶ
- 6 設定したい項目を選ぶ
設定後は戻るボタンを押してください。



ソフトウェアバージョンを確認する

- 1 タッチキーまたはリモコンの **Xメニュー** を押す
- 2 「その他の操作」を選ぶ
- 3 「ソフトウェアバージョン」を選ぶ
確認後は戻るボタンを押してください。

B-CASカードの動作と番号を確認する

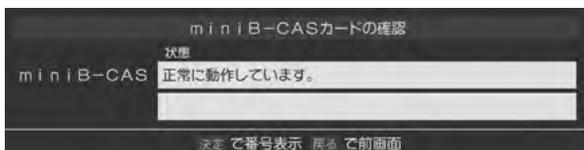


基本の操作

- ① ◀ ▶ ボタンで項目を選ぶ
- ② (決定) ボタンを押す

動作を確認する

- 1 タッチキーまたはリモコンの (メニュー) を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ
- 4 「miniB-CASカードの確認」を選ぶ
確認後は戻るボタンを押してください。



番号を確認する

- 1 タッチキーまたはリモコンの (メニュー) を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ
- 4 「miniB-CASカードの確認」を選ぶ
- 5 (決定) を押す
確認後は戻るボタンを押してください。

- 「エラーが見つかりました」と表示されたとき
修理依頼をしてください。(⇒裏表紙)

暗証番号を設定(視聴制限)する

数字4桁を暗証番号として設定します。

地上デジタル放送の設定内容(10~11ページ)を初期状態に戻すとき(40ページ)に必要となります。

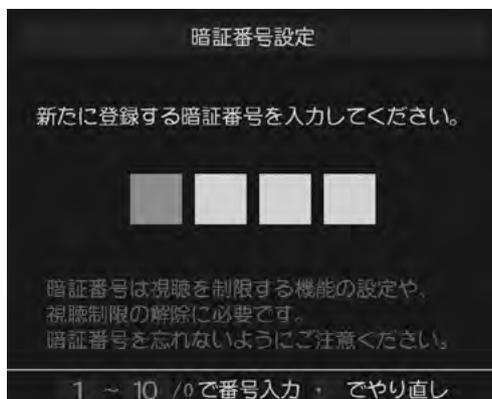


お願い

- ・暗証番号は視聴を制限する機能の設定や視聴制限の解除に必要です。
- ・暗証番号を変更する場合は、変更した暗証番号をメモするなどして忘れないようにしてください。

暗証番号を設定する

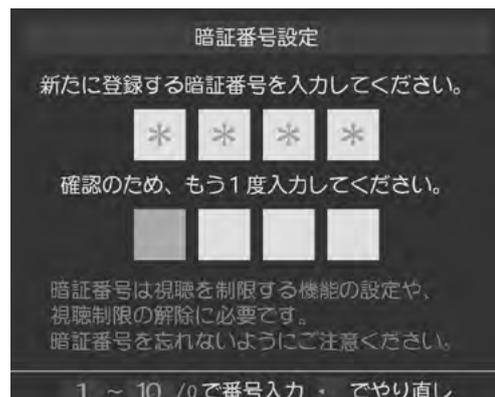
- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「機能設定」を選ぶ
- 4 「視聴制限設定」を選ぶ
- 5 「暗証番号設定」を選ぶ
- 6 新規に登録する暗証番号(数字4桁)をリモコンの **1** ~ **10/0** で入力する
設定後は戻るボタンを押してください。



- 7 確認のため、もう一度入力する

暗証番号を変更する

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「機能設定」を選ぶ
- 4 「視聴制限設定」を選ぶ
- 5 「暗証番号設定」を選ぶ
- 6 現在設定されている暗証番号(数字4桁)をリモコンの **1** ~ **10/0** で入力する
- 7 変更する暗証番号(数字4桁)をリモコンの **1** ~ **10/0** で入力する
設定後は戻るボタンを押してください。
- 8 確認のため、もう一度入力する



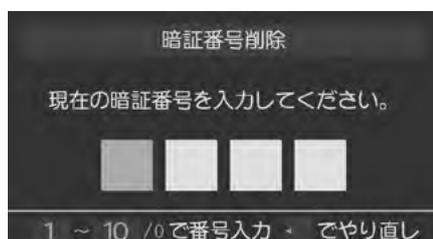
必要なとき

暗証番号を設定(視聴制限)する(つづき)



暗証番号を削除する

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「機能設定」を選ぶ
- 4 「視聴制限設定」を選ぶ
- 5 「暗証番号削除」を選ぶ
- 6 現在設定されている暗証番号(数字4桁)をリモコンの **1** ~ **10/0** で入力する



- 7 「はい」を選ぶ
設定後は戻るボタンを押してください。

必要
な
と
き

設定をリセットする

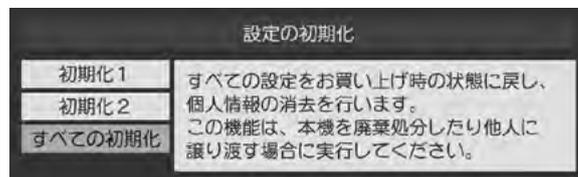


設定項目をリセットする

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ
- 4 「設定の初期化」を選ぶ
- 5 「初期化1」か「初期化2」を選ぶ
- 6 「はい」を選ぶ

テレビの設定をリセットする

- 1 タッチキーまたはリモコンの **メニュー** を押す
- 2 「設定」を選ぶ
- 3 「初期設定」を選ぶ
- 4 「設定の初期化」を選ぶ
- 5 「すべての初期化」を選ぶ



- 6 「はい」を選ぶ

お知らせ

- ・初期化後は、電源を切ってください。

初期化の内容

| | |
|---------|--|
| 初期化1 | 以下の項目以外の設定項目を初期化します。 ・「チャンネル設定」 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 |
| 初期化2 | 以下の項目以外の設定項目を初期化します。 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 (初期化2を行うと地上デジタル放送の再スキャンが必要になります。) |
| すべての初期化 | 本機に設定されたすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。 |

故障かな？

- 修理を依頼される前には、下記の表にしたがって点検されることをおすすめします。
- 下記の対応をしても直らないときは、修理を依頼してください。

| | こんなときは | こんな理由です | このように処理してください | ページ |
|-----------|---|--|--|-----|
| 共通 | 映像が揺れる、 映像が不鮮明、 色模様が出たり色が 消える、 画面に斑点が出たり 画面が揺れる、 音声に雑音が入る | 高圧線、ネオン、自動車、電車な どから雑音電波が出ている。 | 雑音電波の原因である製品などを離してく ださい。 | — |
| | | 他の電気製品から雑音電波が出て いる。 | 雑音電波の原因である電気製品などを離し てください。 | — |
| | 映像が尾を引く | 本体温度が低い。 | 本体温度が上がるとともに戻りますので、 しばらくお待ちください。故障ではありません。 | — |
| | 画面に光る点、 光らない点がある | 液晶パネルは非常に精密度の高い 技術で作られています。画面の 一部に光らない点や常時点灯する 点が存在する場合があります。 | 故障ではありません。あらかじめご了承 ください。 | — |
| | 映像が明るい | 明るさの調節がずれている。 | お好みの明るさに調節してください。 | 2、7 |
| | 映像が暗い | 明るさの調節がずれている。 | お好みの明るさに調節してください。 | 2、7 |
| | | 浴室内の気温が低い。 | 故障ではありません。本体温度が上がると元 に戻りますので、しばらくお待ちください。 | — |
| | 画面がくもる | 表面に水滴が付着し、本体内部の 空気が冷やされることで結露して いる。 | 故障ではありません。やわらかい布で水滴 をふきとり、しばらく放置すると自然に解 消されます。 | — |
| | 音が急に小さくなる | スピーカー部の穴に水滴がたまっ ている。 ※スピーカー部にシャワーなどを かけると発生します。 | 故障ではありません。布で水滴をふきとるか、 強く息を吹きかけて水滴を飛ばしてください。 ※穴に先のとがったものは差し込まないで ください。 | — |
| | 音が聞こえない | 【シーリングバスオーディオと接 続している場合】 「音声設定」の「ヘッドホンモード」 が「通常モード」になっている。 | 「親切モード」に変更してください。 | 32 |
| | | 「AVシステムのスピーカーで聴く」 を選択している。 | 「テレビのスピーカーで聴く」を選択して ください。 ※HDMI連動設定が「使用する」の場合。 | 15 |
| | 電源が入らない | 停電している。 | 停電復帰を待ってください。 | — |
| | | 漏電ブレーカが入っていない。 | 漏電ブレーカを入れてください。 | — |
| 電源が勝手に切れる | オフタイマー設定がオンになっ ている。 | オフタイマーの設定をオフにする。または 時間を長く設定する。 | 17 | |
| | 落雷などのノイズの影響。 | 漏電ブレーカをオフにし、落雷がおさまる までオンにしないでください。 | — | |

| | こんなときは | こんな理由です | このように処理してください | ページ |
|------------------|--------------------------------|---|--|------------------------|
| 共通 | リモコンで操作できない | 電池が入っていない。 | 電池を入れてください。 (電池番号：CR2032) | 9 |
| | | 電池が消耗している。 | 電池を交換してください。 | 9 |
| | | 電池の向きが間違っている。 | 電池を正しい向きに入れてください。 | 9 |
| | | リモコンをテレビ本体に向けて操作していない。 | テレビ本体に向けて操作してください。 | — |
| | | リモコン送信部やテレビ本体のリモコン受光部が汚れている。 | きれいにしてください。 | 47 |
| | | 本体またはリモコンに日光などの強い光が当たっている。 ※強い光により赤外線信号が打ち消される場合があります。 | テレビ本体やリモコンに強い光を当てないようにしてください。 | — |
| | | ノイズなどの影響で機能障害が発生している可能性があります。 | 一度漏電ブレーカを「オフ」にし、約30秒以上後に漏電ブレーカを「オン」にしてください。(電源ボタンではなく、必ず漏電ブレーカで「オン」「オフ」してください。) | — |
| チャンネル番号が画面から消えない | 画面表示ボタンで、画面表示が出る状態にしている。 | 画面表示ボタンを押してください。 | — | |
| 外部入力 | 横長映像になる 上下や左右の映像が カットされる | 映像にあった画面サイズになっていない。 | 画面サイズを変更してください。 | 18 |
| 地上デジタル放送のとき | 地上デジタル放送 が受信できない | お住まいの場所が地上デジタル放送の放送エリアでない。 | 受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。受信可能エリアかどうかの確認は、下記のホームページでご確認ください。 ●社団法人地上デジタル放送推進協会 http://www.dpa.or.jp/ また、お近くの電気店にご相談ください。 | — |
| | | UHFアンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。 | アンテナの向きを確認してください。お近くの電気店にご相談ください。 | — |
| | | UHFアンテナが地上デジタル放送を受信できない。 | 地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要な場合があります。お近くの電気店にご相談ください。 | — |
| | | アンテナ線が接続されていない。 | アンテナ線の接続に関して、お求めの販売店にご相談ください。 | — |
| | | CATV（ケーブルテレビ）の場合、パススルー方式で配信されていない。 | パススルー方式は受信できますが、それ以外の場合は各ケーブルテレビ運営会社にお問い合わせください。 | — |
| | | 映像が出るまでに時間がかかる | 各種信号をデジタル処理しているため、電源を入れたときやチャンネルを切り替えたとき、映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。 | 故障ではありません。しばらくお待ちください。 |
| 映像が出ないなど表示がおかしい | ノイズなどの影響で機能障害が発生している可能性があります。 | 一度漏電ブレーカを「オフ」にし、約30秒以上後に漏電ブレーカを「オン」にしてください。(電源ボタンではなく、必ず漏電ブレーカで「オン」「オフ」してください。) | — | |

| | こんなときは | こんな理由です | このように処理してください | ページ |
|--|--|--|--|-----|
| 地上デジタル放送のとき | 映像や音声がでない (または、時々出なくなる)、 映像が制止する (または、時々制止する)、 画面に四角のノイズ (モザイク) が出る | UHFアンテナの向きが、風や振動により変わってしまった。 | 「アンテナ設定」で、受信レベルが正常に映るレベルに達しているかご確認ください。(アンテナ入力レベルはチャンネルによって異なります。またアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので十分な余裕をとることをお勧めします。) お近くの電気店にご相談ください。 | 34 |
| | | 受信状態が悪い。 | | |
| | | アンテナ線が劣化した。 | | |
| | 字幕や文字スーパー が出ない | 「字幕」や「文字スーパー」が設定されていない。 | リモコンの「字幕」キーまたはタッチキーの「字幕」を押してください。 | 16 |
| 字幕や文字スーパーのある番組を選局していない。 | | メニューを押し、「設定」→「初期設定」→「データ放送設定」→「文字スーパー表示設定」→「表示する」を選んでください。 | 16 | |
| | | 番組によっては、対応していない場合があります。 | — | |
| 番組表が出ない | 電源「入」にした直後や地上デジタル放送を視聴している。 | 電源「切」状態にしてください。その間に番組表データを受信します。地上デジタル放送を視聴しているときは、視聴しているチャンネルのみ更新されます。地上デジタル放送の電波状態がよくないときは番組表データを受信できませんのでご注意ください。 | — | |
| BS・110度CS デジタル放送が 映らない、 または映像が乱れる | アンテナ接続に分配器を使用している。 | 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。 | — | |
| | 有料放送ではありませんか。 | 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。 | — | |
| | マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっている。 | 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してください。(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ) BS・CS110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・CS110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ端子に接続します。 | 34 | |
| | テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、Wi-Fi機器(アクセスポイントを含む)などの無線機器を使用している。 | 左記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れる場合があります。 | — | |

| | こんなときは | こんな理由です | このように処理してください | ページ |
|----------------|------------------------|--|---|-----|
| HDMI外部機器接続の場合 | HDMI接続外部機器が映らない、聞こえない | 正しく接続されていない。 | HDMIケーブルで正しく接続してください。 | — |
| | 外部機器が操作できない | バステレビと外部機器の制御信号が異なる。 | HDMI機器のすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは外部機器のリモコンで操作してください。 | 26 |
| | | 本機と接続機器の設定は正しいですか。 | 接続機器側の連動設定を確認してください。 ※本機の「外部機器設定」にある「HDMI連動機能」を確認してください。 | 27 |
| AVコンセントがある場合 | 外部機器が操作できない | 信号が上手く記憶されていない。 | 「一括消去」を行い、リモコンコードの再設定をしてください。 | 29 |
| | | 外部機器コントローラーの位置が悪い、または接続されていない。 | 外部機器コントローラーの設置状況の確認、調節をしてください。 | 28 |
| | 外部入力の映像、音声がでない | 外部入力の配線が接続されていない。 | 外部入力の配線を接続してください。 | 28 |
| | | 外部入力機器の電源が入っていない。 | 外部入力機器の電源を入れてください。 | — |
| | | 使用可能な外部入力の系統（外部入力1、または外部入力2）に接続されていない。 | 使用可能な外部入力の系統にAVコードを接続してください。（外部入力は1系統のみ使用可能です。） | 28 |
| | 画面の上下に映像のない部分ができる | 16：9より横長の映像ソフト（シネマビジョンサイズのソフトなど）を視聴している。 | 故障ではありません。16：9より横長の映像ソフト（シネマビジョンサイズのソフトなど）のときは、画面の下や上下に映像のない部分ができることがあります。あらかじめご了承ください。 | — |
| リモコンコードが設定できない | 外部機器のリモコンを無線方式に設定している。 | 外部機器のリモコンを赤外線方式に変更のうえ、リモコンコードを設定してください。 | 29 | |

よくあるお問い合わせ(Q&A)

| | Q | A |
|-------------|--------------------------------|--|
| 放送 コンテンツ | 受信レベルについて 受信するための目安はありますか？ | レベルはチャンネルや天候・地域・アンテナシステムの条件などで変わってきます。受信レベルの確認は34ページを参照してください。 |
| | 私の家でも地上デジタル放送が見られるか確認したいのですが…？ | 下記のホームページでご確認ください。 ●社団法人地上デジタル放送推進協会 http://www.dpa.or.jp/ |
| 操作 コンテンツ | 映像がはみ出して 見えない部分があるのですが…？ | 画面サイズの設定は適切ですか？ 「メニュー」「画面サイズ設定」で設定してください。信号によっては、ワイドやズームにすると、映像の上下や左右がカットされてしまう場合があります。 |
| | 3桁のチャンネル番号を入力して 選局したいのですが？ | リモコンの「番号入力」ボタンを押すと、番号入力画面が表示されます。数字ボタンで入力してください。(22ページ参照) |

メッセージ表示一覧

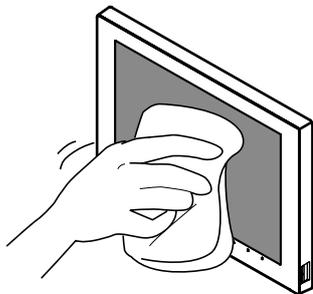
●代表的なエラーメッセージについて説明しています。

| メッセージ | 考えられる原因など | 対処のしかた・その他 |
|--|---|-------------------|
| チャンネルが設定されていません。 | チャンネルを割り当てていない数字キーを押したとき表示されます。 | 別のチャンネルを選局してください。 |
| 「アンテナ接続か受信環境に問題があるためご覧になれません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整をなどをしてください。「青」ボタンでアンテナレベルをご確認ください。 コード：E202」 | 気象条件などによって信号レベルが下がった可能性があります、またはアンテナ線に問題がある可能性があります。 | 販売店にご相談ください。 |
| 「現在放送されていません。 コード：E204」 | 選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。 | 番組表などで放送時間を確認します。 |
| 「miniB-CASカードが挿入されていません。miniB-CASカードをご確認ください。」 | miniB-CASカードが挿入されていない。 miniB-CASカードが正しく挿入されていない。 miniB-CASカードが抜けている。 miniB-CASカードが接触不良を起こしている。 | 販売店にご相談ください。 |

お手入れのしかた

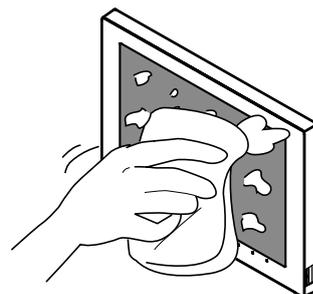
きれいな画面を保つには

画面を指で触らないのはもちろん、入浴後、毎日柔らかい布で水滴をふき取り、水あかが付かないようにお手入れしてください。



石けん、シャンプーや洗剤などが かかってしまったら

軽く絞った布でよくふき、その後、乾いた柔らかい布で水滴をふき取ってください。放置すると水あかや石けんカスなどが付き、画面が見にくくなったり変色や変形、故障の原因となります。



指紋や水あかが付いてしまったら

水で薄めた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってふき取り、その後、乾いた柔らかい布で水滴をふき取ってください。



使用上のお願い

- お手入れのときに以下のものを使用しないでください。
(使用すると、傷、変色、破損の原因となります。)
 - ・酸性またはアルカリ性の表示のある洗剤・洗浄剤・漂白剤
 - ・クレンザー・みがき粉(粉末や研磨力のあるもの)
 - ・薬品(塩酸・アルコール・アンモニア・苛性ソーダなど)
 - ・シンナー・ラッカー・アセトン・灯油など
 - ・ナイロンたわし・金属たわし
 - ・ナイロン不織布・ナイロンネット付きスポンジ
 - ・サンドペーパー
 - ・その他、先のとがったもの
- お手入れの際、画面を強く押したり、強くこすったりしないでください。
(画面に傷がついたり、映像に色むらが出たりして、故障の原因となります。)
 - スピーカーを先のとがったもので清掃しないでください。
(スピーカーの防水機能が損なわれ、故障の原因となります。)
 - シャワーがかかったときや、布でふいたときにテレビ操作部に触れ、スイッチが反応することがありますが、異常ではありません。

さくいん

英数字

ページ

| | |
|-----------------|-------|
| B-CASカード | 8,37 |
| B-CASカードテスト | 37 |
| B-CASカード番号 (ID) | 37 |
| BS・CS 110度CS | 34 |
| HDMI接続 | 26,27 |
| UHF | 34 |

あ行

ページ

| | |
|--------|-------|
| 明るさ | 2,7 |
| 暗証番号 | 38,39 |
| アンテナ設定 | 34 |
| 色あい | 20 |
| 色の濃さ | 20 |
| お知らせ | 35 |
| オフタイマー | 17 |
| 音質の調整 | 21 |
| 音声 | 7 |
| 音量 | 2,6,7 |

か行

ページ

| | |
|---------------------|-------|
| 外部機器 (AVコンセントがある場合) | 28~30 |
| 外部機器 (HDMI接続の場合) | 26,27 |
| 外部入力スキップ | 31 |
| 画質調整 | 19,20 |
| 画面サイズ切替 | 18 |
| 画面調整 | 20 |
| 画面表示 | 6,7 |
| 高音 | 21 |
| コントラスト | 20 |

さ行

ページ

| | |
|--------------------|-------|
| サラウンド | 21 |
| 字幕表示 | 16 |
| 受信設定/修正 (地上デジタル放送) | 10,11 |
| 受信レベル | 34 |
| シーリングバスオーディオ | 32 |
| 省エネ設定 | 33 |
| 消音 | 6,7 |
| 設定の初期化 | 40 |
| 選局 | 2,7 |
| ソフトウェアのダウンロード | 36 |

た行

ページ

| | |
|---------------|-------|
| タイマー機能 | 17 |
| タッチ操作 | 6 |
| 地域設定 | 10,11 |
| チャンネル (→選局) | |
| チャンネル自動設定 | 10,11 |
| チャンネル数字ボタンの登録 | 23 |
| チャンネルスキップ | 23 |
| チャンネルの追加 | 23 |
| チャンネル番号 (3桁) | 22 |
| 通信設定 | 24,25 |
| 低音 | 21 |
| 電源 | 6,7 |

な行

ページ

| | |
|------|-------|
| 入力切替 | 26,30 |
|------|-------|

は行

ページ

| | |
|------------|-------|
| バージョン | 36 |
| バックライト | 20 |
| バランス (音量) | 21 |
| 番組詳細 | 12 |
| 番組情報 | 12 |
| 番組表 | 12,13 |
| 付属品 | 8 |
| 物理チャンネル | 34 |
| 放送局からのお知らせ | 35 |

ま行

ページ

| | |
|--------|-------|
| メッセージ | 46 |
| メニュー | 14,15 |
| 文字スーパー | 16 |

ら行

ページ

| | |
|---------|---------|
| リセット | 40 |
| リモコン | 7 |
| リモコンコード | 29 |
| リモコン受光部 | 6,10,28 |

仕様

バステレビ

| | |
|------------|---|
| 種類 | 地上・BS・110度CS デジタルハイビジョンテレビ |
| 定格電圧・周波数 | AC100V 50/60Hz共用 (本体DC13V) |
| 定格消費電力 | 23W (年間消費電力量：33kWh/年) |
| 待機時消費電力 | 約0.4W |
| 受信可能放送 | 地上デジタル：VHF (1~12)、UHF (13~62)、CATV (C13~C63) BSデジタル：BS000~BS999 110度CSデジタル：CS000~CS999 ※地上デジタル：CATVパススルー対応 (ワンセグ放送を除く) |
| 画面サイズ (mm) | 16V型 (約344.2×193.5) |
| 表示方式 | 透過型TN液晶パネル |
| 駆動方式 | TFTアクティブマトリクス方式 |
| 画素数 | 1,049,088画素 (横1366×縦768) |
| 音声出力 | ステレオ、モノラル、音声多重、サラウンド対応 |
| スピーカー | φ28×2 |
| 受信方式 | 地上デジタル：ISDB-T (国内専用) BS・110度CS：ISDB-S |
| アンテナ入力 | 同軸75Ω端未処理F型プラグ |
| LAN端子 | 1系統 10BASE-T/100BASE-TX |
| その他機能 | EPG (電子番組表) 対応、字幕放送対応、外部機器コントロール機能、 切り忘れタイマー (オフタイマー)、オンタイマー |
| 使用温度 | 0~50℃ |
| 外形寸法 (mm) | 本体：W438×D23×H254 リモコン：W57×D15×H189 電源チューナーボックス：W224×D168×H94 |
| 質量 | 本体：約1.8kg 電源チューナーボックス：約1.6kg |
| 付属品 (同梱品) | リモコン (1個)、リモコンホルダー (1個)、電池 (1個)、 重要書類在中チラシ (1部)、取扱説明書 (本書)、かんたんガイド (1部)、 取付設置説明書 (1部)、B-CASカード (1枚)、B-CASカードチラシ (1部) |

製造者：タイトックス株式会社

B-CAS カード ID 番号

| B-CASカード番号 | カードID (B-CASカード番号) |
|---|--------------------|
| (37ページに記載の「設定」→「初期設定」 「miniB-CASカードの確認」で確認できる 「カードID」の番号を記入してください。 問い合わせのときに必要な場合があります。) | |

著作権など

使われるソフトウェアのライセンス情報

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに当社または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、（問い合わせ先、HP等を記載のこと）へお願いいたします。

また、本機のソフトウェアコンポーネントには、当社自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、当社の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない当社自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、「as is」（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけず、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、当社は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は当社以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

| 対応ソフトウェアモジュール | |
|--|-----------|
| Linux Kernel busybox parted xfsprogs mtd-utils mkdosfs e2fsprogs | Exhibit A |
| Glibc gcc | Exhibit B |
| Malloc | Exhibit C |
| OpenSSL | Exhibit D |

ライセンスおよび商標などについて

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all. The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS

FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/ or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy,

and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your

rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright c 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/ or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright c 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1,

February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is

legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also

provides other free software developers less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms.

A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not

restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it).

Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables. When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work

based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of

software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/ or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation,

write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/ OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright c <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Exhibit C

This is a version (aka dlmalloc) of malloc/free/realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints, performance data, etc to dl@cs.oswego.edu

VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)

Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at

ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c

Check before installing!

Exhibit D

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE. This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License -----

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to.

The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

バステレビ保証書

バステレビを当社システムバス、ユニットバスと同時に取り付けた場合は、システムバス、ユニットバスの保証書または保証規定が有効になります。それ以外の場合は、本保証書をご利用ください。

| | | | | |
|----------|----------------|---|---------|-------------------|
| ※お客様 | お名前 | 様 | ※お引き渡し日 | 年 月 日 |
| | ご住所 | | シリーズ・品番 | GK9HX1630 |
| 電話番号 () | 取扱販売店名・住所・電話番号 | | 保証期間 | (お引き渡し日から) 本体 1年間 |
| ※販売店 | | | | |

無料修理規定

ご販売店様へ 上記※印欄は必ず記入してお渡しください。

本書はお引き渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
 - (ハ) この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) 消耗部品（照明の管球、グローランプ、パッキンなど）の取替えや修理、ストレーナーのゴミ詰まりなどによる故障および損傷
 - (ハ) お引渡し後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧による故障および損傷
 - (ホ) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
 - (ヘ) 仕上げのキズなどで、お引渡し時に申し出がなかったもの
 - (ト) 瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
 - (チ) 指定外の燃料・電源（電圧、周波数）・上水道の水質基準に適合しない井戸水などの使用および異常水質による故障および損傷
 - (リ) 凍結による破損
 - (ヌ) 維持管理の不備による汚れ、さび、給水管、排水管の詰まりなどの不具合
 - (ル) 取付設置説明書に記載された方法以外の取付設置内容に起因する損傷や故障
 - (ヲ) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
 - (ワ) 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
 - (カ) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷
 - (コ) 苛性ソーダや強塩酸などの強い薬品を使用した場合の損傷
 - (ク) 硫黄やアルカリ分を含む入浴剤、温泉などの水質による浴槽表面および金具類の損傷
 - (ケ) 本書のご提示がない場合
 - (セ) 保証書にお引渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (ソ) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 無料修理により取り外された部品・製品は、弊社の所有になります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- お客様ご相談窓口は裏面をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

したがってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社 水廻りシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地 TEL (代表) 06-6909-7676

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・
修理などのご相談は

■まず、お買い上げの販売店へお申し付け
ください。

●お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電話

お引き渡し日 年 月 日

■保証書 (59 ページ)

お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、お買い
上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体 1 年間

■補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、
製造打ち切り後 8 年保有しています。

修理を
依頼されるとき

■まず、41～44 ページの「故障かな？」の
表にしたがって点検してください。
点検しても直らないときは、使用機器の電気・
ガス・水道などの元栓を閉じ、お買い上げの
販売店へご連絡ください。

■ご連絡いただきたい内容

- ①品名
- ②品番 ※品番記載位置は 6 ページをご覧ください。
- ③お引き渡し日
- ④異常の状況 (できるだけ具体的に)

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理をさせて
いただきます。

●保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる
場合は、ご要望により修理させていただきます。

●修理料金は次の内容で構成されています。

【技術料】 診断・修理・調整・点検などの費用です。

【部品代】 修理に使用した部品および補助材料代です。

【出張料】 お客様のご依頼により技術者を派遣する費用です。

※この商品は日本国内専用品ですので、日本国外で使用しないでください。万一、日本国外で使用された場合は、修理サービスはお受けになれません。

商品の情報はホームページでご確認ください。

パナソニック 住まい

検索

<https://sumai.panasonic.jp/>

■転居などでお困りの場合は、以下のお客様相談窓口にご相談ください。

ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

消耗品・交換部品・
後付パーツの
ご用命は

ハイ・パーツショップ 一般のお客様用

<https://sumai.panasonic.jp/parts/>

【受付時間】 月～金 / 9:00～18:00 土・日・祝日 / 9:00～17:00



コーゴ パーツ
0120-055-802

※携帯電話からもご利用になれます。

※GW休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。

※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。

●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1224



修理のご用命は

修理ご相談窓口 ※インターネットでのご依頼も可能です。

<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

【受付時間】 月～土 / 9:00～19:00 日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00



パナニイコー
0120-872-150

※携帯電話からもご利用になれます。

●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1090



商品の
お問い合わせは

住宅設備・建材商品ご相談窓口

<https://sumai.panasonic.jp/support/>

【受付時間】 365 日 / 9:00～18:00



個人のお客様 **0120-878-093** ●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6780-5779

法人のお客様 **0120-187-150** ●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6904-7270

※携帯電話からもご利用になれます。

●FAX… 0120-872-460



Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 – 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※所在地、電話番号、受付時間などの変更になることがあります。

ご相談窓口における
お客様の個人情報の
お取り扱いについて

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いた
だいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示
提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2022

GVN1514
B0818-3032